

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

No. _____

農薬抄録

ブプロフェジン (殺虫剤)

(作成年月日)

平成27年1月23日改訂

(作成会社名) 日本農薬株式会社

目 次

	頁
I. 開発の経緯	A-1
II. 物理的・化学的性状	A-7
III. 生物活性	A-24
IV. 適用および使用上の注意	A-25
V. 残留性および環境中予測濃度算定関係	A-35
VI. 有用動植物等に及ぼす影響	A-95
VII. 使用時安全上の注意、解毒法等	A-121
VIII. 毒 性	B-1
<毒性試験一覧表>	B-1
1. 原体	B-12
(1) 急性毒性	B-12
(2) 眼および皮膚に対する刺激性	B-23
(3) 皮膚感作性	B-28
(4) 急性神経毒性	B-32
(5) 急性遅発性神経毒性	B-33
(6) 90日間反復経口投与毒性	B-34
(7) 21日間反復経皮投与毒性	B-49
(8) 90日間反復吸入毒性	B-54
(9) 反復経口投与神経毒性	B-55
(10) 28日間反復投与遅発性神経毒性	B-61
(11) 1年間反復経口投与毒性および発がん性	B-62
(12) 繁殖毒性および催奇形性	B-103

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

(13) 変異原性	B-130
(14) 生体機能影響	B-155
(15) その他	B-159
2. 原体混在物および代謝物	B-191
(1) 急性毒性	B-191
(2) 28日間反復経口投与毒性	B-200
(3) 変異原性	B-218
3. 製剤	B-252
IX. 動植物および土壌等における代謝分解	C-1
<代謝分解試験一覧表>	C-1
<代謝分解物一覧表>	C-9
1 動物体内運命に関する試験	C-11
2 植物体内運命に関する試験	C-58
3 土壌中運命に関する試験	C-87
4 水中運命に関する試験	C-96
5 土壌吸着性試験	C-108
6 生物濃縮性試験	C-110
代謝分解のまとめ	C-114
動植物体内、土壌中、水中および光による代謝分解経路図	C-118
代謝分解の概要	C-118-1
[附]プロフェジンの開発年表	C-121

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

I. 開発の経緯

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

ブプロフェジンを含有する各種の単剤および混合剤を農薬登録申請し、1983年に登録されたのを始め、その後に登録申請した薬剤を含め、ブプロフェジンを含有する農薬は現在33種類が我が国で登録されている。ブプロフェジンの国内における安全性は、食品安全委員会等で評価され、ADIはラット2年間反復経口投与毒性/発がん性併合試験のNOAELを根拠として0.009mg/kg/日(安全係数100)と設定されている。

3. 諸外国での登録状況

ブプロフェジンの国際的な安全性評価としては1991年にFAO/WHO JMPRにおいて毒性および残留性の評価がなされ、ADIはラット2年間反復経口投与毒性/発がん性併合試験のNOAELを根拠として0.01mg/kg/日(安全係数100)と設定された。また、EPA(2000年)およびEU(2010年)においても評価されており、同じ試験をADIの設定根拠としてそれぞれ0.0033(安全係数300)および0.01(安全係数100)mg/kg/日と設定されている。

ARfDについて、JMPR(2008年)ではイヌ90日反復経口投与毒性試験でみられた投与初期の軽度な歩行失調をNOAELの根拠として0.5mg/kg/日(安全係数100)と設定された。また、US EPA(2012年)ではラット発生毒性試験でみられた化骨遅延及び児動物の低体重を根拠として2.0mg/kg/日(安全係数100、女性13~49歳のみ)、EU EFSA(2008年)ではラット発生毒性試験の結果を根拠として0.5mg/kg/日(安全係数100)と設定されている。

以下に諸外国における登録状況(2014年9月現在)を示す。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

国名	剤型	適用作物	登録年
インドネシア	水和剤、フロアブル、乳剤	稲、大豆、トウガラシ、茶	~2000
台湾	水和剤、フロアブル、混合剤(粉剤、乳剤、水和剤、粒剤)	稲、マンゴー	
韓国	混合剤(水和剤、粉剤)、フロアブル	稲、マツ	
マレーシア	水和剤、フロアブル、混合剤(水和剤)	稲、ジャスミン	
タイ	混合剤(乳剤)、水和剤	稲	
中国	水和剤、混合剤(水和剤)	稲、茶、柑橘	
フィリピン	水和剤、混合剤(乳剤、水和剤)	稲、マンゴー、バナナ、パイナップル	
スペイン	水和剤、混合剤(乳剤)	柑橘	
スーダン	混合剤(乳剤)	ワタ	
ブルガリア*	水和剤	野菜	
ポーランド*	水和剤	野菜	
スイス	水和剤	野菜、ラズベリー、ブルーベリー、ブドウ	
トルコ	混合剤(乳剤)、フロアブル	ワタ、野菜、柑橘	
イスラエル	フロアブル	ワタ、野菜、カキ、ブドウ、リンゴ、柑橘、観賞植物	
ウルグアイ	水和剤	柑橘、馬鈴薯、ナシ、モモ、リンゴ	
スリランカ	水和剤	稲、グアバ	
ペルー	水和剤	マンダリン、オリーブ、トマト	
ハンガリー*	水和剤	トマト、パプリカ、キュウリ	
エルサルバドル	水和剤	野菜	
キューバ	水和剤	トマト	
ベトナム	混合剤(水和剤)、水和剤、フロアブル	稲、茶	
ニュージーランド	水和剤、フロアブル	野菜、果樹、観賞植物	
ルーマニア*	水和剤、フロアブル	野菜、リンゴ、プラム	
エジプト	水和剤、フロアブル	ワタ	
チュニジア	水和剤	柑橘	
ノルウェー	水和剤	観賞植物	
グアテマラ	水和剤、フロアブル	ワタ、トマト、タバコ、稲、柑橘、キュウリ	
ベネズエラ	水和剤	野菜、ワタ	
イタリア*	水和剤、フロアブル	柑橘、トマト	
トリニダードトバゴ	水和剤	野菜、柑橘、果樹、稲、観賞植物	
カンボジア	水和剤	稲	

* 各国登録は失効中

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

国名	剤型	適用作物	登録年
アルゼンチン	水和剤	トマト、柑橘	~2000
チリ	水和剤	果樹、ブドウ、トマト、温室作物、柑橘、ビート	
メキシコ	水和剤	観賞植物、ワタ	
ホンジュラス	水和剤	ワタ、野菜	
ドミニカ共和	水和剤	稲、柑橘、野菜、インゲンマメ、馬鈴薯、ワタ	
ニカラグア	フロアブル	ワタ、インゲンマメ、柑橘、ウリ科野菜	
セントルシア	水和剤	野菜	
バルバドス	水和剤	トマト、柑橘	
ドミニカ	水和剤	野菜	
グレナダ	水和剤	野菜	
コロンビア	水和剤	野菜	
コスタリカ	水和剤	野菜	
エクアドル	水和剤	ワタ、稲、柑橘、メロン、トマト	
ガイアナ	水和剤		
スリナム	水和剤		
中央アフリカ	フロアブル	野菜	
ニジェール	水和剤		
クウェート	水和剤		
ブラジル	水和剤	柑橘、ワタ、フェジョン豆、トマト、メロン、キュウリ、ペゴニア、ガーベラ	
イラク	水和剤	ナス、ワタ	
イラン	フロアブル	ワタ	
パキスタン	フロアブル	稲、ワタ	
パナマ	フロアブル		
USA	水和剤、ドライフロアブル、顆粒水和剤、フロアブル	ワタ、ウリ科野菜、レタス、サヤインゲン、トマト、観賞植物、バナナ、柑橘、ブドウ、リュウガン、レイシ、プラサン、ランブータン、スパニッシュライム、アーモンド、ピスタチオ、仁果類果樹、モモ	
モロッコ	フロアブル	キュウリ、トマト	
オーストラリア	フロアブル	柑橘、マンゴー	
ケニア	フロアブル		2001
ロシア	水和剤	トマト、キュウリ	2004

*各国登録は失効中

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

国名	剤型	適用作物	登録年
インド	混合剤(乳剤)、フロアブル	稲、ワタ	2005
ベリーズ	フロアブル	野菜	2005
セルビア	水和剤、粉剤	野菜、ブドウ	2006
マケドニア	水和剤、粉剤	野菜、ブドウ	2006
アルジェリア	水和剤	柑橘、野菜	2007
スロベニア	水和剤	オリーブ	2007
ウクライナ	水和剤	野菜、果樹	
ウズベキスタン	水和剤	野菜	

空欄は適用作物不明、*各国登録は失効中

II. 物理的・化学的性状

1. 有効成分の名称および化学構造

1) 一般名

和名：ブプロフェジン

英名：buprofezin (ISO 名)

2) 別名

商品名：アプロード

試験名：NNI-750

3) 化学名

和名：2-ターシャリーブチルイミノ-3-イソプロピル-5-フェニル-3, 4, 5, 6-テトラ
ヒドロ-2H-1, 3, 5-チアジアジン-4-オン

英名：2-*tert*-butylimino-3-isopropyl-5-phenyl-3,4,5,6-tetrahydro-
2H-1, 3, 5-thiadiazine-4-one

(MAFF 名)

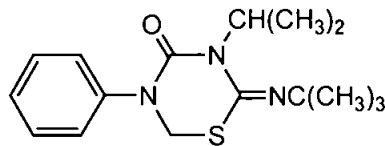
和名：(Z)-2-ターシャリーブチルイミノ-3-イソプロピル-5-フェニル-
1, 3, 5-チアジアジナン-4-オン

英名：(Z)-2-*tert*-butylimino-3-isopropyl-5-phenyl-1, 3, 5-thiadiazinan-
4-one

(IUPAC 名)

(本化合物のターシャリーブチル基は Z 配座に限定され、E 配座は存在し
ないことが明らかになった。)

4) 構造式



5) 分子式

$C_{16}H_{23}N_3OS$

6) 分子量

305.44

5) CAS 番号

953030-84-7

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2.有効成分の物理的・化学的性状

- 1) 外観・臭気 : 類白色、刺激性硫黄臭 (、1993年、GLP)
- 2) 密度 : 1.1836 g/cm³ (20°C、比重瓶法) (、1993年、GLP)
- 3) 融点 : 104.4~105.3°C (毛細管法) 、1999年、非GLP)
- 4) 沸点 : 267.6°C (DSC法) (、1998年、非GLP)
- 5) 蒸気圧 : 4.2 × 10⁻⁵ Pa (20°C、気体流動法) (、1995年、GLP)
- 6) 溶解度 :

溶媒	溶解度
水	: 0.387 mg/ℓ (20°C、カラム溶出法) (、1999年、非GLP)
ヘプタン	: 17.9 g/ℓ (20~22°C、フラスコ法) (、1993年、GLP)
トルエン	: 336.2 g/ℓ 同上
ジクロロメタン	: 586.9 g/ℓ 同上
アセトン	: 253.4 g/ℓ 同上
メタノール	: 86.6 g/ℓ 同上
酢酸エチル	: 240.8 g/ℓ 同上
n-オクタノール	: 25.1 g/ℓ 同上

- 7) 解離定数 : 5.23 (20°C、pH別水溶解度測定) (、1999年、非GLP)
- 8) オクタノール/水分配係数(P_{o/w}): log P_{o/w} = 4.80 (HPLC法) (、1999年、非GLP)
- 9) 生物濃縮性: BCF_{ss} = 382~537 (平均476)
BCF_k = 464 (試験濃度0.04mg/L) (1996年、GLP)
- 10) 土壌吸着係数(シラス混入灰褐色土):
K_F^{ads} = 39.1、K_{Foc}^{ads} = 2230 (25°C) (、1991年、非GLP)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

- 11) 加水分解性: $t_{1/2}$ 51 日 (25°C、pH 5、EPA N-161-1)
378 日 (25°C、pH 7、EPA N-161-1)
396 日 (25°C、pH 9、EPA N-161-1)
(、1995 年、GLP)
- 12) 水中光分解性:
蒸留水: $t_{1/2}$ 33 日 (16~31°C、太陽光) (、1996 年、非 GLP)
自然水: $t_{1/2}$ 14 日 (25°C、15.9~22.1 W/m²、280~500nm、9 農産第 5089 号法)
(、2000 年、GLP)
- 13) 安定性:
① 熱: 安定(20~250°C、TGA/DSC 法) (、1993 年、GLP)
② その他
風解性: なし 潮解性: なし
引火性: なし 爆発性: なし (落錠感度試験)
皮膚侵触性: なし
- 14) UV/VIS、IR、NMR および MS のスペクトラム
図 1-1~3、図 2-1、図 3-1~2、図 4-1 に示す。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

プロフェジンの UV/VIS スペクトル

試験機関 :
使用機器 : 二光束式分光光電光度計 U-2010 日立製作所(株)
使用セル : 石英セル 10×10×45 mm
試験方法 : OECD 101
供試濃度 : 10 mg/ℓ スリット幅 2 nm
測定波長 : 200～750 nm セル長 10 mm
スキャン速度: 200 nm/min

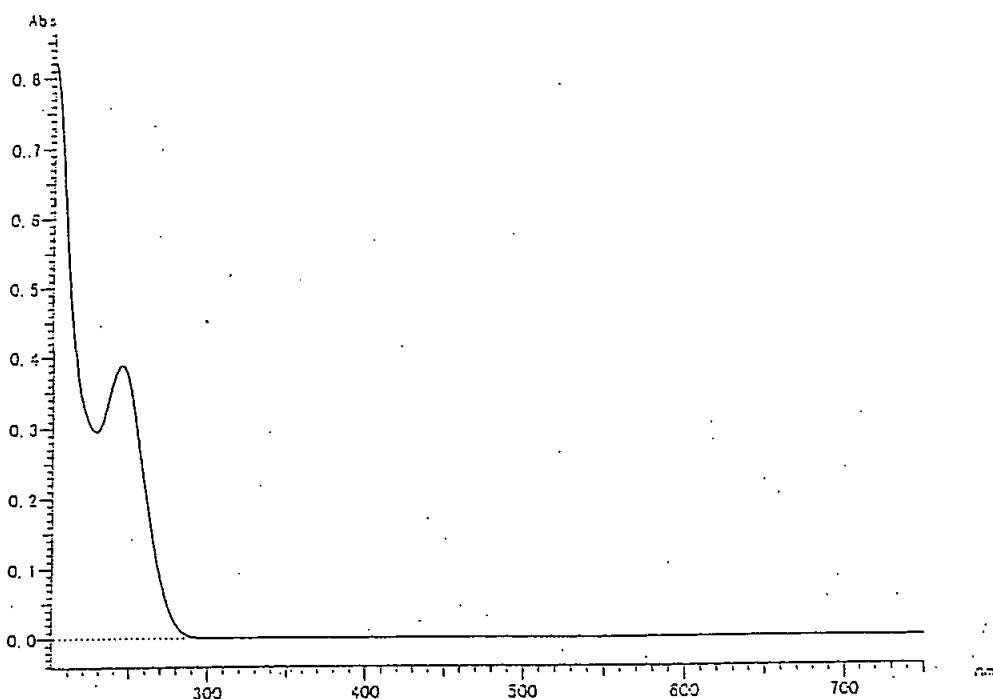
溶 媒	pH	吸収波長(nm)	分子吸光係数(log ϵ)
メタノール+水(図1-1)	6.8	245	4.07
メタノール+1N-HCl(図1-2)	1.0	223	4.23
メタノール+1N-NaOH(図1-3)	13.5	245	4.07

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

(UV/VIS スペクトル)

日時: 99/08/24 13:52:13

中性



サンプル: 中性
 分析日時: 99/08/24 13:12:20
 オペレータ:
 コント:

光度計
 モデル: U-2010形分光光度計
 シリアル No.: 9305-012
 ROM Ver.: 2550 00

測定条件
 測定モード: 波長スキャン
 データモード: Abs
 開始: 750.0 nm
 終了: 200.0 nm
 スキャンスピード: 200 nm/min
 スリット幅: 1.0 nm
 狭狭: 2 nm
 光源切換: 340.0 nm
 パースイッチ設定: 1-デ
 レジスタ: 標準
 狭狭長: 10.0 mm

ピーク検出
 検出方法: Romberg
 しきい値: 0.0200

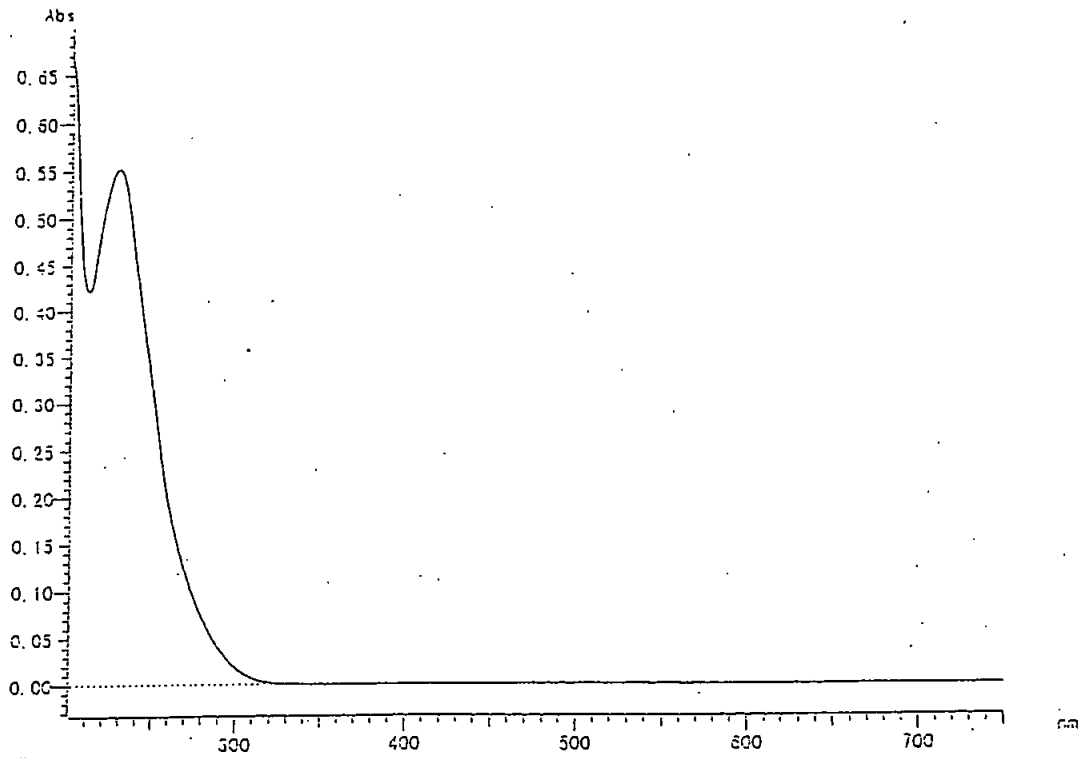
ピーク No.	開始 (nm)	ピーク波長 (nm)	終了 (nm)	高さ (Abs)	面積 (Abs*nm)	ハレ (nm)	ハレ (Abs)
1	750.0	245.0	200.0	0.388	29.715	200.0	0.321

図 1-1 プロポフェジン(メタノール+水)の紫外/可視吸収スペクトル (中性条件)

(UV/VIS スペクトル続き)

日時: 99/08/24 14:19:10

酸性



サンプル: 酸性
 分析日時: 99/08/24 14:00:43
 オペレータ:
 コメント:

光度計
 モデル: U-2010形分光光度計
 シリアル No.: 9305-012
 ROM Ver.: 2550 G0

測定条件
 測定モード: 吸収スキャン
 データモード: Abs.
 開始: 750.0 nm
 終了: 200.0 nm
 スキャン速度: 200 nm/min
 スリット開度: 1.0 nm
 スリット: 2 nm
 光源切換: 340.0 nm
 ベースライン設定: 1-デ
 波長: 標準
 長さ: 10.0 nm

データ
 検出方法: Ramberz
 しきい値: 0.0200

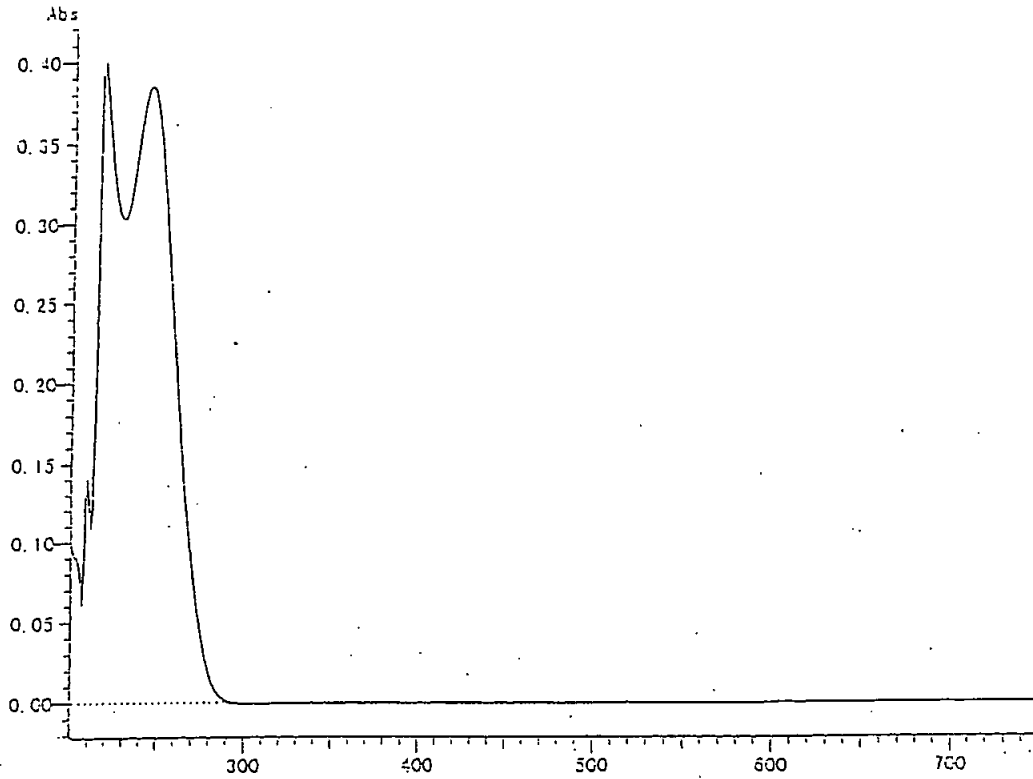
データ No.	開始 (nm)	データ波長 (nm)	終了 (nm)	高さ (Abs)	面積 (Abs*nm)	ハレ (nm)	ハレ (Abs)
1	750.0	228.0	200.0	0.551	34.324	200.0	0.564

図 1-2 プロプロフェジン(メタノール+1N-HCl)の紫外/可視吸収スペクトル (酸性条件)

(UV/VIS スペクトル続き)

日時: 99/08/24 14:34:41

塩基性



サンプル: 塩基性
 分析日時: 99/08/24 14:30:29
 オペレータ:
 モデル:

光度計
 サンプル: U-2010 紫外分光光度計
 シリアル No.: 9605-012
 ROM Ver.: 2550 00

測定条件
 測定モード: 波長スキャン
 データモード: Abs
 開始: 750.0 nm
 終了: 200.0 nm
 スキャンスピード: 200 nm/min
 サンプル間隔: 1.0 nm
 狭さ: 2 nm
 光源切換: 340.0 nm
 ベースライン設定: 1-ダ
 波長: 標準
 セル長: 10.0 mm

ピーク検出
 検出方法: Romberg
 しきい値: 0.0200

ピーク No.	開始 (nm)	ピーク波長 (nm)	終了 (nm)	高さ (Abs)	面積 (Abs*nm)	ハレ (nm)	ハレ (Abs)
1	750.0	245.0	229.0	0.385	13.908	229.0	0.302
2	229.0	217.0	200.0	0.400	7.764	200.0	0.099

図 1-3 プロフェジン(メタノール+1N-NaOH)の紫外/可視吸収スペクトル (塩基性条件)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

プロフェジンの IR スペクトル

試験機関:

使用機器: 赤外分光光度計 FT/IR-300E(日本分光工業株)

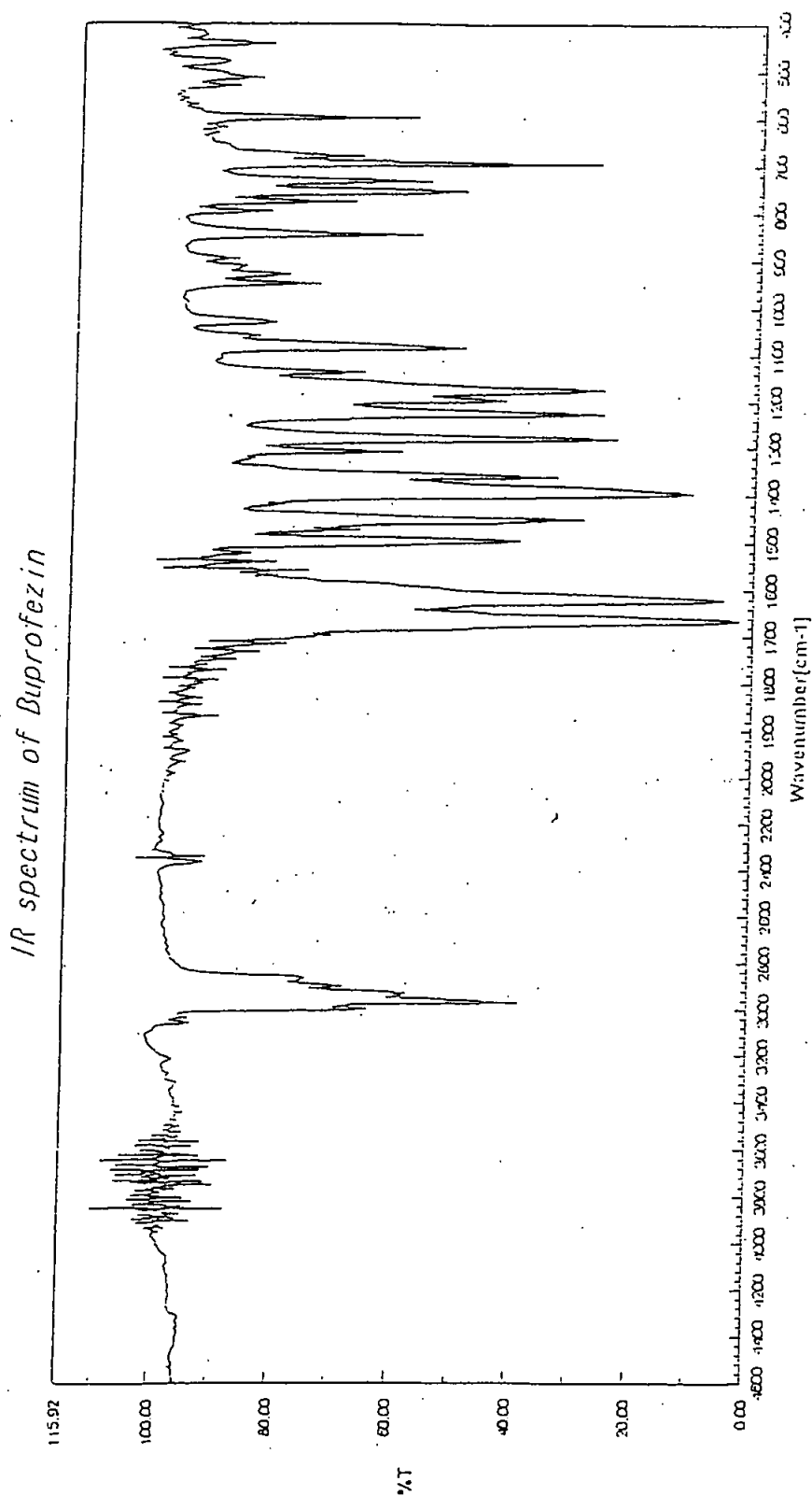
錠剤成形器 Mini press MP-1(日本分光工業株)

測定方法: KBr 錠剤法 積算回数: 241 回

測定波数: 400~4000 cm^{-1} 分解能: 4 cm^{-1}

波 数(cm^{-1})	帰 属
3080、3060	芳香族 C-H 伸縮
3000~2880	アルカン C-H 伸縮
1664	C=O 伸縮
1621	C=N 伸縮
752、694	芳香族 C-H 面外変角

(IR スペクトル)



サンプル名: 2100004P.
分析: 4 cm-1
アボダイゼーション: Cosine
積算回数: 241
日付: 99/08/23 10:25

図 2-1 プロフェジン赤外吸収スペクトル

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

プロフェジンの NMR スペクトル

試験機関:

使用機器: 核磁気共鳴装置 VXR 300S (VARIAN Co.)

測定溶媒: 重クロロホルム

基準物質: テトラメチルシラン (TMS)

¹H-NMR

化学シフト (ppm)	積分比	多重度	結合定数(Hz)	帰属
1.33	9	singlet	...	C(CH ₃) ₃
1.43	6	doublet	6.9	CH(CH ₃) ₂
4.65	1	multiplet	...	CH(CH ₃) ₂
4.77	2	singlet	...	N-CH ₂ -S
7.20~7.41	5	multiplet	...	Aromatic protons

¹³C-NMR

化学シフト (ppm)	帰属
20.1	C(CH ₃) ₃
29.6	CH(CH ₃) ₂
48.0/51.4	{ CH(CH ₃) ₂ N-CH ₂ -S
54.4	C(CH ₃) ₃
125.1/126.3/129.1/141.7	phenyl carbon
141.4	C=N
155.0	C=O

(NMR スペクトル)

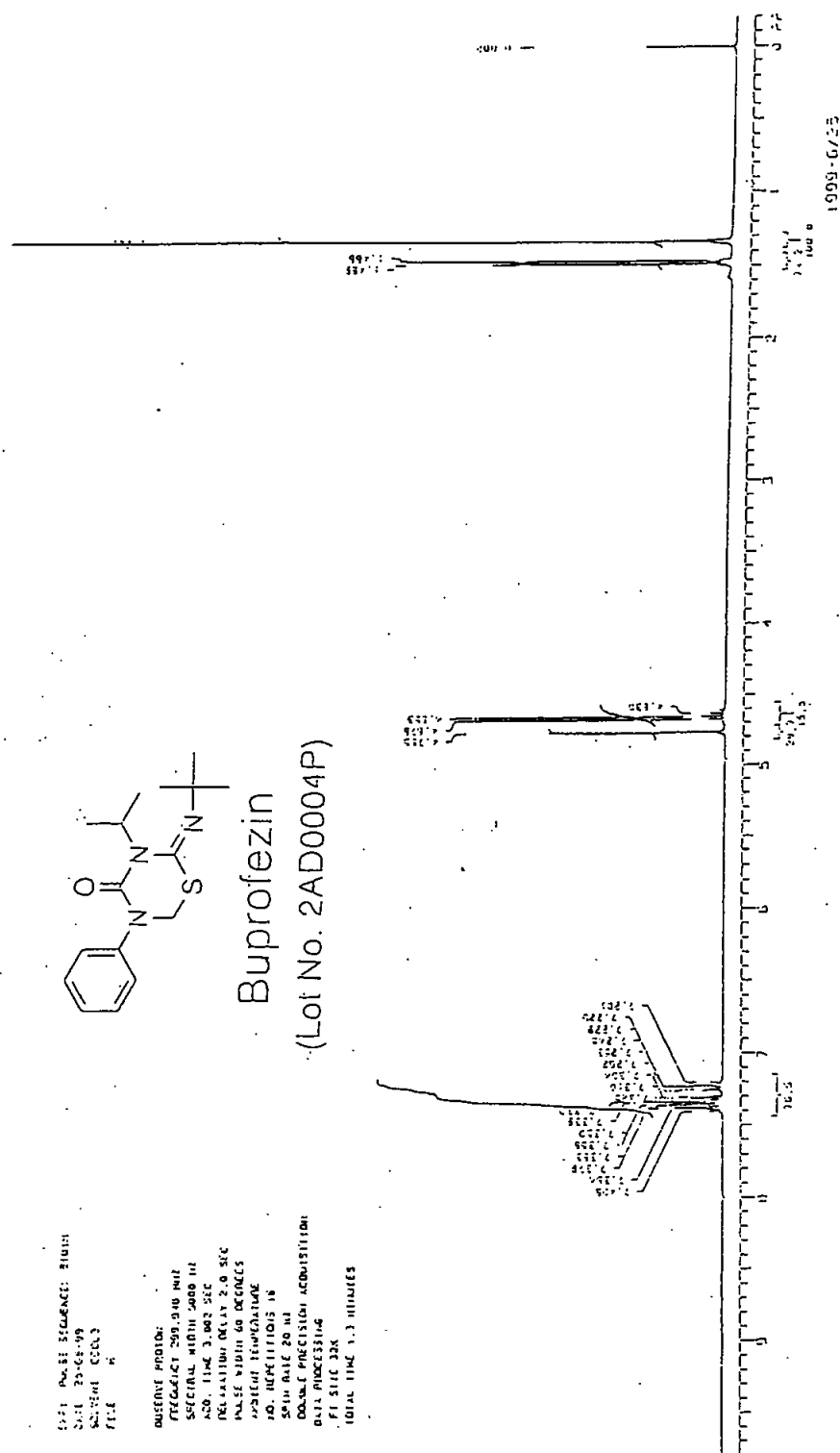


図 3-1 ブプロフェジンの ¹H-NMR スペクトル

(NMR スペクトル 続き)

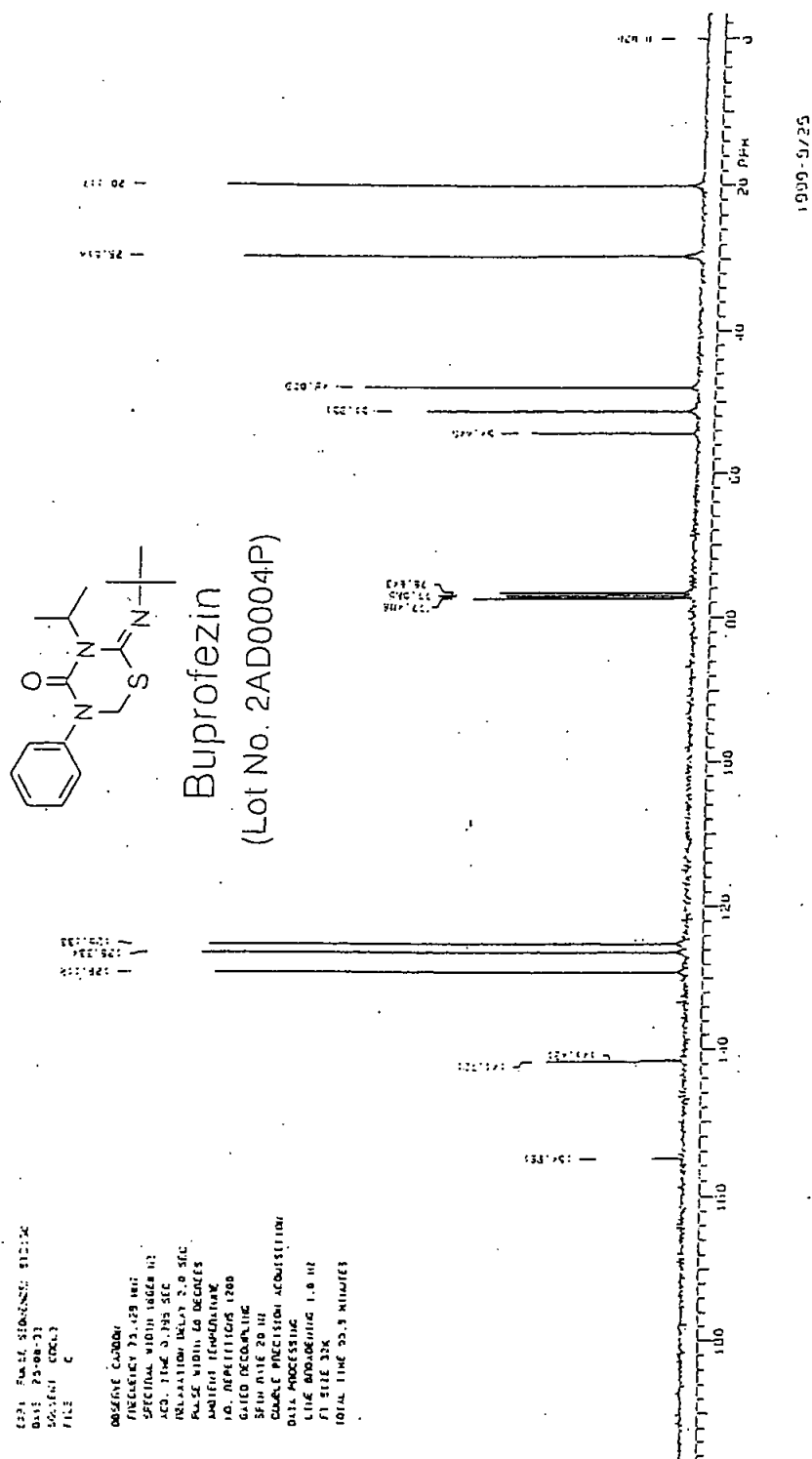


図 3-2 プロフェジンの ¹³C-NMR スペクトル

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

ブプロフェジンの MS スペクトル

試験機関:

使用機器: 質量分析計 JMS-700(日本電子株)

試料導入: 直接導入法

プローブ温度: 50~350°C(128°C/min 昇温)

走査範囲: 50~300

分解能: 1000 以上

イオン化方法: EI法(電子衝撃法)

イオン化エネルギー: 70eV

イオン化室温度: 267°C

(MS スペクトル)

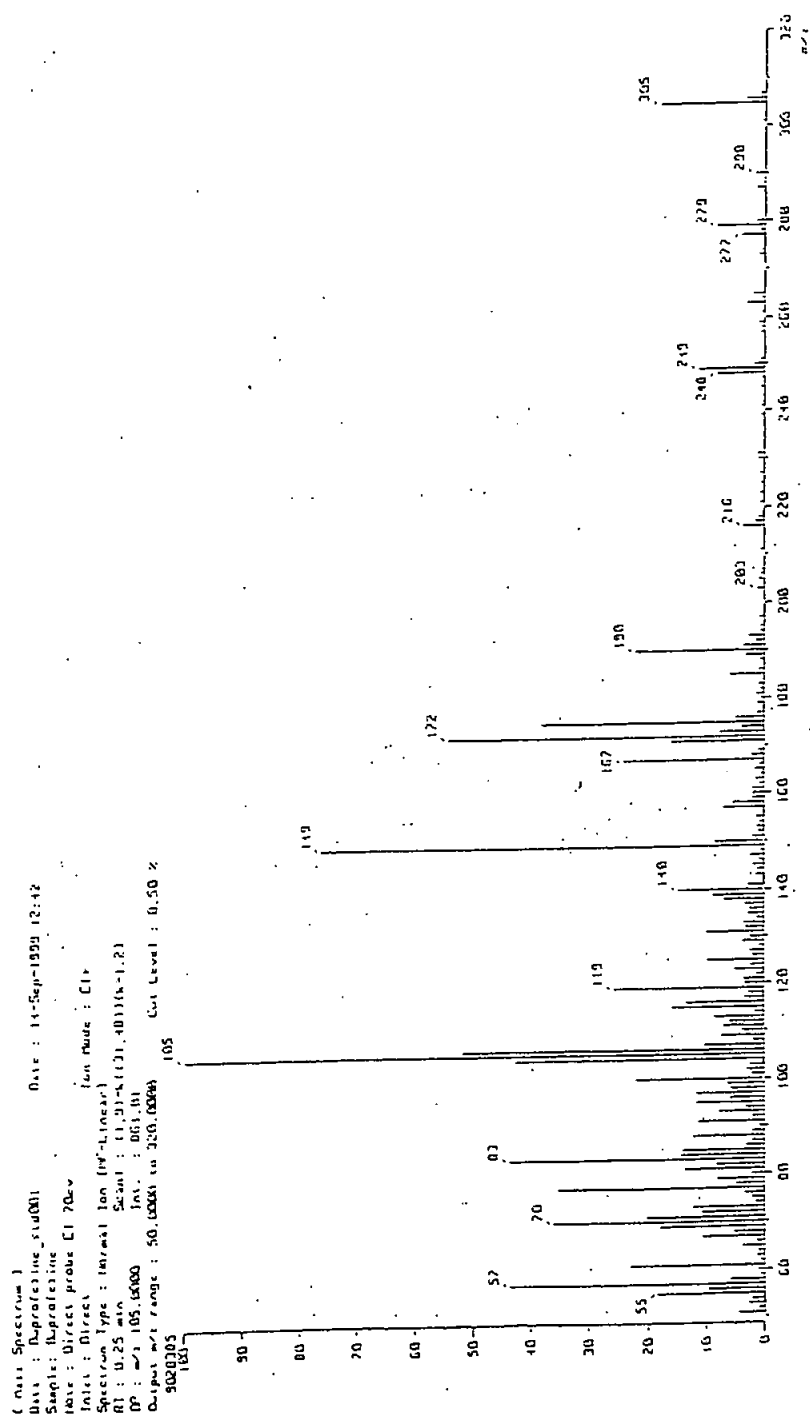
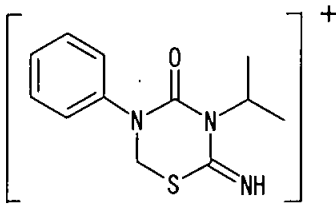
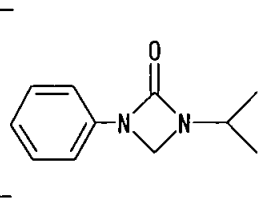
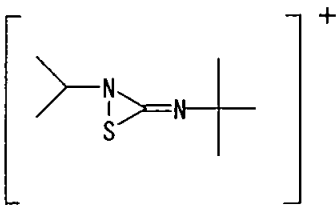
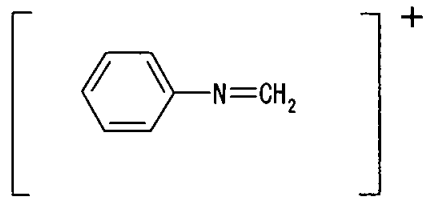
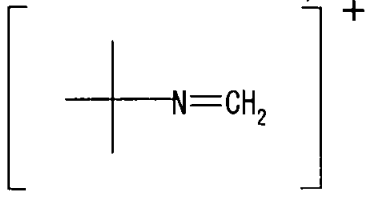


図 4-1 プロフェジンの MS スペクトル

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

ブプロフェジンの MS スペクトルピークの帰属

M/Z	帰属フラクシオン
305	M^+
249	
190	
172	
105	
83	
57	$(CH_3)_3C^+$

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

3.原体の成分組成

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量(%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値
有効成分	ブプロフェジン	2-ターシャリーブチルイミノ-3-イソプロピル-5-フェニル-3,4,5,6-テトラヒドロ-2H-1,3,5-チアジアジン-4-オン		$C_{16}H_{23}N_3OS$	305.44		

4. 製剤の組成

① 25%ブプロフェジン水和剤		
ブプロフェジン	25.0%	
鉍物質微粉、界面活性剤 等	75.0%	
② 40%ブプロフェジンフロアブル		
ブプロフェジン	40.0%	
水、界面活性剤 等	60.0%	
③ 20%ブプロフェジンフロアブル		
ブプロフェジン	20.0%	
水、界面活性剤 等	80.0%	
④ 6%ブプロフェジン粒剤(パック剤)		
ブプロフェジン	6.0%	
無機塩類 等	94.0%	
⑤ 2%ブプロフェジン粒剤		
ブプロフェジン	2.0%	
鉍物質微粉、界面活性剤 等	98.0%	
⑥ 1.5%ブプロフェジン粉剤		
ブプロフェジン	1.5%	
鉍物質微粉、凝集剤 等	98.5%	
⑦ 10%ブプロフェジン乳剤		
ブプロフェジン	10.0%	
アミトラズ	10.0%	
有機溶剤、界面活性剤 等	80.0%	
⑧ 4%フェンピロキシメート・20%ブプロフェジンフロアブル		
ブプロフェジン	20.0%	
フェンピロキシメート	4.0%	
水、界面活性剤 等	94.0%	

III. 生物活性

1. 活性の範囲

2 綱 9 目 44 科 83 種について調べた結果、カメムシ目ではウンカ科、ヨコバイ科、ヒメヨコバイ科、コナジラミ科、マルカイガラムシ科、コナカイガラムシ科、ワタフキカイガラムシ科およびカタカイガラムシ科に、コウチュウ目ではテントウムシ科に、ダニ目ではホコリダニ科およびフシダニ科に活性が認められた。(社)日本植物防疫協会に試験委託した結果、1981 年までに稲のトビイロウンカ、その他のウンカ類、ツマグロヨコバイ、麦のヒメトビウンカ、きゅうり、なす、トマトのオンシツコナジラミ、みかんのヤノネカイガラムシおよび茶のクワシロカイガラムシとチャノミドリヒメヨコバイに実用的な効果が確認された。

2. 作用性

ブプロフェジンのウンカに対する主な作用は次のとおりである。

- (1) ブプロフェジンは、殺成虫作用はなく、強い殺幼虫作用を持つ。
- (2) 殺卵作用は産下 24 時間以内の卵に処理した場合に認められる。
- (3) 殺幼虫作用は脱皮異常としてあらわれ、処理後直ぐには発現しない。活性は若齢ほど高い。
また、経皮的にも経口的にも作用する。
- (4) 羽化後 24 時間以内の雌成虫では、生存期間の短縮、産卵の抑制、産下卵の不孵化が、羽化 72 時間以後の雌成虫では、産下卵の不孵化が認められる。

なお、ブプロフェジンの動植物および土壌における主要代謝物の生物活性は、ブプロフェジンに比べて著しく低い。

3. 防除上の利点

ブプロフェジンは、低濃度で幼虫に作用し、かつ、上記の作用特性を持っているため、次世代の密度を減少させる。その結果、残効期間が長くなり、処理適期幅が広くて散布回数の減少をはかることができる。また、ブプロフェジンは有機リン剤、カーバメート剤、およびピレスロイド剤等と交差抵抗性を示さないため、薬剤抵抗性によって防除困難となっている個体群にも適用できる。

はくさいを除く 56 種の作物に対して薬害は認められていない。

ブプロフェジンは、カイコ、ミツバチ等の有用昆虫やキクズキコモリグモ、チリカブリダニ、ケナガカブリダニ、ニセラーゴカブリダニ等の捕食性天敵、ウンカタマゴヤドリバチ、クロアブラバチ、その他の寄生性天敵等に対して影響しない。したがって、養蚕地帯を含む広域での使用も可能である。

IV. 適用および使用上の注意

1. 種類：ブプロフェジン水和剤
 名称：アプロード水和剤（25%）

1) 適用病害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロフェジンを含む農薬の総使用回数										
みかん	カイガラムシ類幼虫	1000～1500倍	200～ 700L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内										
	幼ナゲカヅメ若齢幼虫	1000倍															
かんきつ (みかんを除く)	カイガラムシ類幼虫	1000～1500倍		1000倍				収穫45日前まで	2回以内	2回以内							
	幼ナゲカヅメ若齢幼虫																
なし	カイガラムシ類幼虫	1000倍		200～ 700L/10a				収穫30日前まで	2回以内	2回以内							
もも								収穫14日前まで									
かき								カイガラムシ類幼虫			1000倍	200～ 700L/10a	開花期まで 但し、収穫45日前まで	2回以内	2回以内		
													うめ			収穫後～落葉前	
すもも													収穫14日前まで				
びわ																	
くり			収穫7日前まで														
杓苺			収穫前日まで														
稲			ツグクビイ幼虫		1000～2000倍	60～ 150L/10a	収穫7日前まで						4回以内			散布	4回以内 (小包装投入は1回以内)
			ウンカ類幼虫		300倍	25L/10a											
小麦	ヒビウカ幼虫	1000～2000倍	60～ 150L/10a	収穫前日まで	3回以内	3回以内 (空中散布は2回以内)											
きゅうり	オシロイバナ幼虫	1000倍	100～ 300L/10a														
トマト	オシロイバナ幼虫			1000倍	100～ 300L/10a												
	オシロイバナ類幼虫 (シルバーリーフコナジラミ幼虫を含む)	1000倍	100～ 300L/10a														
なす	オシロイバナ幼虫			1000～2000倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	3回以内	3回以内									
	オシロイバナ類幼虫 (シルバーリーフコナジラミ幼虫を含む)	1000倍															
	チャホウリクビ幼虫																

* 平成26年3月13日拡大申請

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ガロシを含む農薬の総使用回数
ふき	カコナジ類幼虫 (シルバーリーフコナジ類幼虫を含む)	1000倍	100～ 300L/10a	収穫 21 日前まで	3回以内	散布	3回以内
茶	クシコナジ類若齢幼虫		1000L/10a	摘採 14 日前まで	2回以内		2回以内
	チャノドリヒメコナジ幼虫 ミントケコナジ	200～ 400L/10a					
たばこ	カコナジ類幼虫	2000倍	25～ 180L/10a	発生初期	4回以内		4回以内
桑	ヒメコナジ幼虫 ハコロモ類幼虫	1000倍	200～ 700L/10a				
柿	カコナジ類幼虫	1000～2000倍	100～ 300L/10a		6回以内		6回以内
	カコナジ類幼虫 (シルバーリーフコナジ類幼虫を含む)	1000倍					
ガーベラ	カコナジ類幼虫						

2) 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 散布液調製後はできるだけ速やかに散布すること。
- (3) 本剤を本田の水稲に対して希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- (4) 本剤は成虫を直接殺す作用がないので、幼虫主体の時期に散布するのが望ましい。
また、その場合、薬剤散布後も幼虫は直ちに死亡せず、死亡までに3～7日を要するので十分留意すること。
- (5) 成虫の防除を必要とする場合には、成虫に有効な薬剤と組み合わせて使用すること。
- (6) 本剤の散布適期は、本剤の性質から害虫発生初期の比較的低密度の時期であり多発時の散布は直ちに密度を低下させることが出来ないため、その場合は速効性のある薬剤と組み合わせて使用すること。
- (7) かきを使用する場合、幼果期以降に散布すると果皮に薬害を生ずるおそれがあるので、必ず開花期までに使用すること。
- (8) かき、なし、くり、びわ、キウイフルーツ、うめおよびすももに使用する場合は、施設栽培での散布は薬害を生ずるおそれがあるのでさけること。
- (9) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (10) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2. 種類：ブプロフェジン水和剤
 名称：アプロードゾル(40%フロアブル)

1) 適用病害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カブシキ を含む 農薬の総 使用回数
稲	ツグヨコバ幼虫 ウカ類幼虫	16倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	4回以内	無人ヘリコプターによる散布	4回以内 (小包装投入は 1回以内)
		60倍	3L/10a				
		16倍	0.8L/10a	水田耕起前		空中散布	
		60倍	3L/10a				
小麦	ヒゲウカ幼虫	40~60倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	2回以内	空中散布	3回以内 (空中散布は 2回以内)
		16倍					

2) 使用上の注意事項

- (1)使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2)本剤は成虫を直接殺す作用がないので、幼虫主体の時期に散布するのが望ましい。
 また、その場合、薬剤散布後も幼虫は直ちに死亡せず、死亡までに3~7日を要するので十分留意すること。
- (3)成虫の防除を必要とする場合には、成虫に有効な薬剤と組み合わせて使用すること。
- (4)散布は、各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
- (5)無人ヘリコプターによる散布にあつては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
- (6)はくさい、かぶには薬害を生ずるおそれがあるので、付近にある場合には、かからないように注意して散布すること。
- (7)散布薬液の飛散によって自動車の塗装等に被害を生ずるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- (8)散布液が養魚田、養魚池などに飛散流入しないように十分注意すること。
- (9)本剤の使用に当つては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨
 この登録に係る使用方法では該当がない。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

3. 種類：プロフェジン水和剤
 名称：アプロードフロアブル(20%フロアブル)

1) 適用病害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロフェジンを含む農薬の総使用回数
稲	ツマグロヨコバイ幼虫 ウンカ類幼虫	1000倍	60～150L /10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内 (小包装投入は 1回以内)
		300倍	25L/10a				
みかん	加防虫剤類幼虫 シシガキ若齢幼虫	1000倍	200～700L /10a	収穫14日前まで	3回以内		3回以内
かんきつ (みかんを除く)				収穫45日前まで			
りんご	1000～ 1500倍	収穫30日前まで		2回以内	2回以内		
なし	1000倍	収穫14日前まで		3回以内			
もも		収穫7日前まで		2回以内			
ネクタリン		収穫14日前まで					
すもも		収穫30日前まで		1回			
あんず		1000～ 1500倍		収穫7日前まで	2回以内		
うめ		1000倍		収穫30日前まで			
ぶどう	フタテンヒメヨコバイ幼虫	3000倍		1000L/10a	収穫7日前まで	2回以内	2回以内
いちじく パッション フルーツ	加防虫剤類幼虫	1000倍	1000L/10a	収穫30日前まで			
マンゴー	加防虫剤類幼虫 チャノコリダニ		1000L/10a	収穫14日前まで	2回以内		
茶	クワガタ若齢幼虫	1000L/10a	1000L/10a	摘採14日前まで	1回	株元 灌注	
ねぎ* にら*	ネコ類	500～ 1000倍	1～3L/m ²	収穫14日前まで			
くるみ* 樹木類	加防虫剤類幼虫	1000倍	200～700L /10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
				—	6回以内		6回以内

*平成26年3月27日拡大申請

2) 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 本剤を本田の水稻に対して希釈倍数 300 倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- (3) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (4) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

- 3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨
この登録に係る使用方法では該当がない。

4. 種類：プロフェジン粉剤
名称：アプロード粉剤DL(1.5%)

1) 適用病害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロフェジンを含む農薬の総使用回数
稲	ツマグロヨコバイ幼虫 ウンカ類幼虫	3~4kg /10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内 (小包装投入は 1回以内)
小麦	ヒメビウンカ幼虫	3kg/10a		3回以内		3回以内 (空中散布は 2回以内)

2) 使用上の注意事項

- (1) 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ見かけ比重がやや大きく、流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しぼって散布すること。
- (2) 本剤は成虫を直接殺す作用がないので、幼虫主体の時期に散布するのが望ましい。
また、その場合、薬剤散布後も幼虫は直ちに死亡せず、死亡までに3~7日を要するので十分留意すること。
- (3) 成虫の防除を必要とする場合には、成虫に有効な薬剤と組み合わせて使用すること。
- (4) 本剤の散布適期は、本剤の性質から害虫発生初期の比較的低密度の時期であり多発時の散布は直ちに密度を低下させることが出来ないため、その場合は速効性のある薬剤と組み合わせて使用すること。
- (5) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨
この登録に係る使用方法では該当がない。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

5. 種類：プロフェジン粒剤
名称：ラクオー・アプロード(6%)

1) 適用病害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロフェジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類幼虫	小包装(パック) 20個(1kg)/10a	収穫7日前まで	1回	水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる	4回以内 (小包装投入は 1回以内)

2) 使用上の注意事項

- (1) 小包装(パック)に使用しているフィルムは水溶性のため、ぬれた手や汗ばんだ手で作業したり、降雨等で破袋しないように注意すること。
- (2) 本剤は水溶性フィルムで小包装した製剤をそのまま、1アール当り2個の割合で水田に均一に投げ入れること。
- (3) 本剤は湛水状態(湛水深 3~5cm)で投げ込み散布し、散布後はすくなくとも3~4日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないよう注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- (4) 藻や浮草、雑草が繁茂している水田では拡散が不十分となり効果の劣る可能性があるので使用をさけること。
- (5) 本剤は成虫を直接殺す作用がないので、幼虫主体の時期に散布するのが望ましい。
- (6) 朝露や降雨により葉がぬれている場合は、粒剤が直接葉に付着して薬害を生ずるおそれがあるので使用をさけること。
- (7) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨
この登録に係る使用方法では該当がない。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

6. 種類：プロフェジン粒剤
名称：アブロード粒剤（2%）

1) 適用病害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロフェジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類幼虫	3~4kg /10a	収穫7日前まで	4回以内	湛水散布	4回以内 (小包装投入は 1回以内)

8. 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- (2) 本剤は成虫を直接殺す作用がないので、幼虫主体の時期に散布するのが望ましい。また、その場合、薬剤散布後も幼虫は直ちに死亡せず、死亡までに3~7日を要するので十分留意すること。
- (3) 成虫の防除を必要とする場合には、成虫に有効な薬剤と組み合わせて使用すること。
- (4) 本剤の散布適期は、本剤の性質から害虫発生初期の比較的低密度の時期であり、多発時の散布は直ちに密度を低下させることが出来ないため、その場合は速効性のある薬剤と組み合わせて使用すること。
- (5) 散布に当たっては、田水深を3cm以上にし、散布後少なくとも3~4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、漏水のはげしい水田では効果の劣る場合があるので使用をさけること。
- (6) 本剤を散布する場合、浮き草や雑草が繁茂している水田では、効果の劣ることがあるので、あらかじめ除草をしてから散布すること。
- (7) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

2) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

7. 種類：アミトラズ・ブプロフェジン乳剤

名称：タイクーン乳剤（アミトラズ10%+ブプロフェジン10%）

1) 適用病害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アミトラズを含む農薬の総使用回数	ブプロフェジンを含む農薬の総使用回数
かんきつ (みかんを除く)	ヤノネカイガラムシ若齢幼虫 ミカンサビダニ	750~1000倍	200~700 L/10a	収穫45日 前まで	1回	散 布	1回	3回以内
みかん	コナカイガラムシ類若齢幼虫 ロウムシ類幼虫			収穫14日 前まで				
つばき類	ロウムシ類幼虫			発生初期	6回以内			

2) 使用上の注意事項

- (1)石灰硫黄合剤、ボルドー液などアルカリ性薬剤との混用は避けること。
- (2)ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ②養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めること。
- (3)蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (4)本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

8. 種類：フェンピロキシメート・ブプロフェジン水和剤

名称：アプロードエースフロアブル(フェンピロキシメート4%+ブプロフェジン20%)

1) 適用病害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンピロキシメートを含む農薬の総使用回数	ブプロフェジンを含む農薬の総使用回数					
みかん	カイガラムシ類	1000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	2回以内*	散布	2回以内*	3回以内					
	ミカンサビダニ	1000～2000倍											
	チャノホコリダニ	2000倍											
かんきつ (みかんを除く)	カイガラムシ類	1000倍		収穫45日前まで	1回		1回	2回以内	2回以内				
	ミカンサビダニ	1000～2000倍											
	チャノホコリダニ	2000倍											
もも	カイガラムシ類	1000倍		収穫14日前まで	2回以内		1回	1回	2回以内				
ネクタリン													
うめ													
いちじく													
キウイフルーツ	カイガラムシ類 キウヒメヨコバイ		収穫前日まで	1回	1回	1回	2回以内						
トマト	コナジラミ類	1000～2000倍						100～300L/10a	3回以内	3回以内	3回以内	3回以内	
	トマトサビダニ	1000倍											
なす	コナジラミ類	1000～2000倍							3回以内	2回以内	2回以内	2回以内	2回以内
	チャノホコリダニ	1000倍											
とうがらし類	コナジラミ類		3回以内	3回以内	3回以内	3回以内	3回以内						
きゅうり	コナジラミ類	1000～2000倍											
すいか メロン	コナジラミ類		1000L/10a	2回以内	2回以内	2回以内	2回以内						
茶	クワシロカイガラムシ 若齢幼虫	1000倍							200～400L/10a	摘採14日前まで	2回以内	2回以内	2回以内
	チャノミドリヒメヨコバイ												
	チャノホソガ												
	チャノナガサビダニ チャトゲコナジラミ												
ホインセチア ガーベラ	コナジラミ類		100～300L/10a	発生初期	6回以内	6回以内	6回以内						

* 平成26年 4月24日拡大申請

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2) 使用上の注意事項

- (1) 使用前に容器を軽く振ること。
- (2) 本剤の散布適期は、幼虫が優占する時期であり、多発時及び成虫が多い時期には直ちに密度を低下させることができないので、殺成虫効果があり速効性の薬剤と組み合わせて使用することが望ましい。
- (3) 蚕に長期間毒性があるので、桑葉にかからないように注意すること。
- (4) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないに注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (5) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

3) 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
養殖池周辺での使用は避けること。
- (2) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

V. 残留性および環境中予測濃度算定関係

1. 分析法

[1] 作物残留

(1) 分析法の原理と操作概要

①GLC 分析法

粉碎試料中のプロプロフェジンをアセトンで抽出し、プロプロフェジンが塩基性化合物であることを利用し、水-n-ヘキサン液々分配により精製し、FTD または N-P FID 付き GLC で定量する。但し、稲わらはメタノールで抽出する。精製はフロリジルカラムクロマトグラフィーで行っても良い。

②LC-MS/MS 分析法

均一化粉碎試料中のプロプロフェジンをアセトンで抽出し、ポリマーミニカラムおよびグラファイトカーボンミニカラムで精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計(LC-MS/MS)を用いて定量する。

(2) 分析対象の化合物

2-ターシャリーブチルイミノ-3-イソプロピル-5-フェニル-3, 4, 5, 6-テトラヒドロ-2H-1, 3, 5-チアジアジン-4-オン (プロプロフェジン)

分子式 $C_{16}H_{23}N_3OS$ 、分子量 305.44、代謝経路図中の記号(A)

[2] 乳汁残留

(1) 分析法の原理と操作概要

乳汁に potassium oxylate を添加し、等量のエタノールを加えてヘキサン/ジエチルエーテルで抽出、濃縮後、精製してガスクロマトグラフ質量分析計で定量する。

(2) 分析対象の化合物

プロプロフェジン

[3] 土壌残留

(1) 分析法の原理と操作概要

試料中のプロプロフェジンをアセトンで抽出し、塩基性化合物であることを利用し、水-n-ヘキサンの液々分配により精製を行い FTD または N-P FID 付き GLC で定量する。

(2) 分析対象の化合物

プロプロフェジン

[4] 後作残留

(1) 分析法の原理と操作概要

試料中のプロプロフェジンをアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム及び SAX+PSA カートリッジカラムで精製し、NPD-GLC で定量する。

(2) 分析対象の化合物

プロプロフェジン

[5] 水質汚濁性

(1) 水中残留分析法の原理と操作概要

固相抽出カラムで抽出後、メタノールで溶出して濃縮後塩化ナトリウム水溶液を加え、トルエンで抽出しガスクロマトグラフ質量分析計で定量する。または、ヘキサンで抽出後、抽出液を濃縮してガスクロマトグラフを用いて絶対検量線で定量する。

(2) 分析対象の化合物名

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

プロフェジ

[1] 作物残留性

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所		日本農薬(株)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水 稻 [玄 米] 昭和54年度 No.5	50%水和剤 1000倍 160 l/10a 散 布	熊本農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			4	7	0.056	0.056	0.06	0.05
			4	14	0.042	0.041	0.03	0.03
			4	21	0.039	0.038	0.02	0.02
			4	30	0.032	0.032	0.02	0.02
水 稻 [玄 米] 昭和56年度 No.3	2%粒剤 4kg/10a 散 布	日植防研	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			4	21	0.020	0.018	0.02	0.02
			4	30	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			4	45	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			4	60	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
水 稻 [玄 米] 昭和58年度 No.9	40%水和剤 (ゾル) 40倍 3 l/10a 空中散布	茨城鉾田 防除所	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			1	86	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	25%水和剤 1000倍 120 l/10a 散 布	茨城鉾田 防除所	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			1	77	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	40%水和剤 (ゾル) 40倍 3 l/10a 空中散布	栃木農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			1	83	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	25%水和剤 1000倍 120 l/10a 散 布	栃木農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			1	83	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所		日本農薬(株)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水 稲 〔玄 米〕 昭和60年度 No.11	1.5%粉剤* 4kg/10a	広島農武	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			4	7	0.028	0.026	0.020	0.020
			4	14	0.020	0.018	0.026	0.020
			4	21	0.016	0.015	0.009	0.009
	散 布	鹿児島農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			4	7	0.031	0.030	0.027	0.024
			4	13	0.026	0.026	0.017	0.016
			4	20	0.011	0.011	0.007	0.006
水 稲 〔玄 米〕 昭和61年度 No.12	40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 空中散布	三重県農業 技術センター	0	-	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
			1	47	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
	25%水和剤 1000倍 80 ℓ/10a 散 布	三重県農業 技術センター	0	-	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
			1	47	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
	40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 空中散布	秋田中央病 害虫防除所	0	-	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
			1	52	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
	25%水和剤 1000倍 80 ℓ/10a 散 布	秋田中央病 害虫防除所	0	-	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
			1	52	<0.005	<0.005	<0.004	<0.004
					—		日本エコテック(株)	
水 稲 〔玄 米〕 平成2年度 No.19	40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a	農林水産 航空協会 (静岡)	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			3	21			0.028	0.026
			1	30			0.017	0.016
	無人ヘリコプター による散布	農林水産 航空協会 (長野)	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			2	35			0.019	0.018
			1	30			0.023	0.022

*: ダイアジノン 3.0% + プロフェジン 1.5%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					-		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水 稻 [玄 米] 平成5年度 No.28	25%水和剤 140倍 25 ℓ/10a 散 布	日植防研	0	-	/	/	<0.01	<0.01
	25 ℓ/10a 散 布		4	7			0.10	0.10
	25%水和剤 300倍 25 ℓ/10a 散 布	石川植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
	25 ℓ/10a 散 布		4	7			0.05	0.05
水 稻 [玄 米] 平成6年度 No.40	①6%粒剤 100g×10袋/10a	愛知農総試	0	-	/	/	<0.01	<0.01
	②2%粒剤 3kg/10a 散 布		①② 1+3	21			<0.01	<0.01
水 稻 [玄 米] 平成6年度 No.40	①6%粒剤 100g×10袋/10a	和歌山植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
	②2%粒剤 4kg/10a 散 布		①② 1+3	21			<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					-		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水 稻 〔玄 米〕 平成8年度 No.45-(1)	20%水和剤 (70777ル) 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	石川植防	0	-	/	/	<0.005	<0.005
	0		4	7			0.126	0.122
	25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	日植防研 (宮崎)	0	-	/	/	<0.005	<0.005
	0		4	7			0.164	0.158
20%水和剤 (70777ル) 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	日植防研 (宮崎)	0	-	/	/	<0.005	<0.005	
0		4	7			0.060	0.060	
25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	日植防研 (宮崎)	0	-	/	/	<0.005	<0.005	
0		4	7			0.089	0.088	
水 稻 〔玄 米〕 平成8年度 No.45-(2)	20%水和剤 (70777ル)	石川植防	0	-	/	/	<0.005	<0.005
	0	4	7	0.082	0.070			
300倍 25 ℓ/10a 散 布	日植防研 (宮崎)	0	-	/	/	<0.005	<0.005	
0	4	7	0.026	0.025				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水 稻 〔玄 米〕 平成8年度 No.47	①25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	新潟農総研 佐渡農技 センター	0	-	0.002	0.002	<0.002	<0.002
	②40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 空中散布		①② 3+1	7	0.028	0.028	0.042	0.042
			3+1	14	0.025	0.024	0.033	0.032
	40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 空中散布		0 1	- 20			<0.002 0.008	<0.002 0.008
	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 150 ℓ/10a 散 布		0 1	- 20			<0.002 0.022	<0.002 0.022
	25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布		0 1	- 20			<0.002 0.031	<0.002 0.031

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水 稻 〔玄 米〕 平成9年度 No.47	①25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布 ②40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 空中散布	新潟農総研 佐渡農技 センター	0	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
			①② 3+1	7	0.080	0.078	0.112	0.112
			3+1	14	0.072	0.068	0.113	0.113
	0		-					
	40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 空中散布	0	21			<0.002	<0.002	
	20%水和剤 (70アブル) 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	0	21			<0.002	<0.002	
	25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	0	21			<0.002	<0.002	
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント	
水 稻 〔玄 米〕 平成19年度 No.74	2%粒剤 * 4kg/10a 散 布	日植防牛久	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4*	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4*	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4*	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4*	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		日植防成東	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4*	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4*	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4*	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4*	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
水 稻 〔玄 米〕 平成20年度 No.76	40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 無人ヘリコプター による散布	石川植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	0.03	0.02	0.03	0.03
			4	14	0.03	0.02	0.05	0.04
			4	21	0.02	0.02	0.02	0.02
		鹿児島農環協	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			4	7	0.04	0.04	0.04	0.04
			4	14	0.03	0.03	0.03	0.03
			4	21	0.03	0.03	0.04	0.04

*: 1 回目プロフェジン(2.0%)、2~4 回目プロフェジン(2.0%) + フルトランル(7.0%)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	別 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所		日本農薬(株)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水 稻 〔稲わら〕 昭和54年度 No.5	50%水和剤 1000倍 160 ℓ/10a 散 布	熊本農試	0	-	0.07	0.07	0.04	0.04
			4	7	11.4	11.2	6.2	6.1
			4	14	9.73	9.42	10	10
			4	21	6.16	6.12	5.6	5.4
			4	30	6.20	6.08	3.3	3.2
	50%水和剤 1000倍 ①150 ℓ/10a ②200 ℓ/10a 散 布	和歌山農試	0	-	0.29	0.28	0.17	0.17
			①2	7	21.4	21.4	32	30
			②2	14	18.3	17.3	13	12
			②2	20	6.16	5.73	5.8	4.9
			②2	31	2.79	2.66	3.1	2.8
水 稻 〔稲わら〕 昭和56年度 No.3	2%粒剤 4kg/10a 散 布	日植防研	0	-	<0.01	<0.01	<0.03	<0.03
			4	21	2.56	2.48	3.0	3.0
			4	30	2.86	2.83	1.7	1.6
			4	45	2.72	2.68	1.7	1.6
			4	60	0.09	0.08	0.25	0.22
		山形農試 (庄内)	0	-	0.01	0.01	<0.03	<0.03
			4	21	1.04	1.02	1.6	1.5
			4	30	1.59	1.58	0.94	0.90
			4	45	0.80	0.76	0.50	0.49
			4	60	0.27	0.24	0.22	0.22
水 稻 〔稲わら〕 昭和58年度 No.9	40%水和剤 (ゾル) 40倍 3 ℓ/10a 空中散布	茨城鉾田 防除所	0	-	<0.01	<0.01	0.01	0.01
			1	86	0.02	0.02	<0.01	<0.01
	25%水和剤 1000倍 120 ℓ/10a 散 布		0	-	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
			1	77	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	40%水和剤 (ゾル) 40倍 3 ℓ/103 空中散布	栃木農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	83	0.10	0.10	0.19	0.19
	25%水和剤 1000倍 120 ℓ/10a 散 布		0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	83	0.01	0.01	0.01	0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所		日本農薬(株)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水 稻 〔稲わら〕 昭和60年度 No.11	1.5%粉剤* 4kg/10a 散 布	広島農試	0	-	0.32	0.30	0.12	0.10
			4	7	18.0	17.8	11.30	9.82
			4	14	9.35	9.34	6.30	6.15
			4	21	6.62	6.40	5.70	5.30
		鹿児島農試	0	-	0.39	0.39	0.22	0.20
			4	7	7.72	7.64	9.80	8.52
			4	13	4.44	4.38	6.05	5.48
			4	20	2.98	2.90	1.12	1.09
水 稻 〔稲わら〕 昭和61年度 No.12	40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 l/10a 空中散布	三重県農業 技術センター	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	47	1.00	0.96	0.72	0.61
	25%水和剤 1000倍 80 l/10a 散 布		0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	47	0.04	0.04	0.30	0.24
	40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 l/10a 空中散布	秋田中央病 害虫防除所	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	52	2.15	2.10	1.07	1.04
	25%水和剤 1000倍 80 l/10a 散 布		0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	52	0.23	0.20	0.18	0.17

*:ダイアジノン 3.0%+プロフェジン 1.5%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					-		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水 稻 〔稲わら〕 平成5年度 No.28	25%水和剤 140倍 25 ℓ/10a 散 布	日植防研	0	-	/	/	<0.05	<0.05
	25 ℓ/10a 散 布		4	7			12.00	11.75
	25%水和剤 300倍 25 ℓ/10a 散 布	石川植防	0	-	/	/	<0.05	<0.05
	25 ℓ/10a 散 布		4	7			5.25	5.22
水 稻 〔稲わら〕 平成6年度 No.40	①6%粒剤 100g×10袋/10a ②2%粒剤 3kg/10a 散 布	愛知農総試	0	-	/	/	<0.05	<0.05
	①6%粒剤 100g×10袋/10a ②2%粒剤 4kg/10a 散 布		0	-			&circled1②	21
水 稻 〔稲わら〕 平成6年度 No.40	①6%粒剤 100g×10袋/10a ②2%粒剤 4kg/10a 散 布	和歌山植防	0	-	/	/	<0.05	<0.05
	①6%粒剤 100g×10袋/10a ②2%粒剤 4kg/10a 散 布		0	-			&circled1②	21

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					-		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水 稲 [稲わら]	20%水和剤 (70777ル) 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	石川植防	0	-			<0.05	<0.05
	4		7	3.77			3.76	
平成8年度 No.45-(1)	25%水和剤 1000倍 150 ℓ/108 散 布	日植防研 (宮崎)	0	-			<0.05	<0.05
	4		7	5.12			5.04	
水 稲 [稲わら]	20%水和剤 (70777ル) 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	石川植防	0	-			<0.05	<0.05
	4		7	5.45			5.42	
平成8年度 No.45-(2)	25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	日植防研 (宮崎)	0	-			<0.05	<0.05
	4		7	10.5			10.5	
水 稲 [稲わら]	20%水和剤 (70777ル) 300倍	石川植防	0	-			<0.05	<0.05
	4		7	1.28			1.26	
平成8年度 No.45-(2)	25 ℓ/10a 散 布	日植防研 (宮崎)	0	-			<0.05	<0.05
	4		7	2.27			2.23	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水 稻 【稲わら】 平成8年度 No.47	①25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布 ②40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 空中散布	新潟農総研 佐渡農技 センター	0 ①② 3+1 3+1	- 7 14	0.13 2.41 1.15	0.13 2.30 1.13	0.12 2.25 0.92	0.10 2.25 0.90
	40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 空中散布		0 1	- 20			0.12 0.43	0.10 0.43
	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 150 ℓ/10a 散 布		0 1	- 20			0.12 0.67	0.10 0.66
	25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布		0 1	- 20			0.12 1.12	0.10 1.12

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック(株)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
水 稻 [稲わら] 平成9年度 No.47	①25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布 ②40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 空中散布	新潟農総研 佐渡農技 センター	0	-	0.05	0.05	<0.05	<0.05
			①② 3+1	7	7.51	7.36	5.84	5.70
			3+1	14	3.36	3.22	4.75	4.68
	0 1		- 21			<0.05 1.35	<0.05 1.19	
	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	0 1	- 21			<0.05 1.39	<0.05 1.25	
	25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	0 1	- 21			<0.05 2.02	<0.05 1.88	
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント	
水 稻 [稲わら] 平成19年度 No.74	粒剤 * 4kg/10a 散 布	日植防牛久	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			4*	7	1.93	1.92	3.72	3.08
			4*	14	0.92	0.92	1.62	1.55
			4*	21	1.64	1.63	3.32	3.24
		4*	28	0.34	0.34	0.89	0.89	
		日植防成東	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
			4*	7	1.54	1.54	2.48	2.39
			4*	14	1.89	1.86	3.16	3.03
4*	21		1.87	1.84	7.05	6.87		
4*	28	1.77	1.74	1.87	1.84			
水 稻 [稲わら] 平成20年度 No.76	40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 無人ヘリコプター による散布	石川植防	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			4	7	4.0	3.8	3.2	3.2
			4	14	4.6	4.4	5.5	5.4
			4	21	1.3	1.2	2.0	2.0
		鹿児島農環協	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			4	7	12.9	12.8	7.7	7.6
			4	14	2.0	2.0	1.9	1.9
			4	21	1.4	1.4	1.8	1.8

*: 1 回目プロフェジン(2.0%)、2~4 回目プロフェジン(2.0%) + フルトラニル(7.0%)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所		(財)日本食品分析 センター	
					最高値	平均値	最高値	平均値
小麦 〔子実〕 昭和56年度 No.6	25%水和剤 1000倍 200 ℓ/10a 散 布	栃木農試	0	-	0.022	0.022	<0.01	<0.01
			3	10	0.088	0.084	0.05	0.04
			3	18	0.015	0.014	0.01	0.01
			3	25	0.011	0.010	<0.01	<0.01
			3	32	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
		日植防研	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			3	7	0.094	0.093	0.06	0.06
			3	14	0.040	0.039	0.02	0.02
			3	21	0.018	0.018	0.01	0.01
			3	30	0.013	0.012	<0.01	<0.01
					(財)残留農薬研究所		日本農薬(株)	
小麦 〔子実〕 昭和58年度 No.8	40%水和剤 (ゾル) 40倍 3 ℓ/10a 空中散布	群馬農総試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			1	19	0.059	0.058	0.068	0.066
	25%水和剤 1000倍 120 ℓ/10a 散 布	埼玉農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			1	19	0.025	0.024	0.046	0.044
40%水和剤 (ゾル) 40倍 3 ℓ/10a 空中散布	埼玉農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
		1	31	0.005	0.005	0.006	0.006	
25%水和剤 1000倍 120 ℓ/10a 散 布	埼玉農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
		1	31	0.007	0.006	0.009	0.008	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
小麦 〔子実〕 平成4年度 No.26	40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 空中散布	栃木防除所	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			1	30	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	25%水和剤 1200倍 100 ℓ/10a 散 布	群馬防除所	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			1	30	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
40%水和剤 (ゾル) 16倍 0.8 ℓ/10a 空中散布	群馬防除所	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
		1	28	0.005	0.005	<0.005	<0.005	
25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	群馬防除所	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
		1	28	0.005	0.005	<0.005	<0.005	
					愛知県農業試験場		大阪府立農林技術センター	
ふき (施設) 〔葉柄〕 平成9年度 No.57	25%水和剤 1000倍 150 ℓ/10a 散 布	愛知県 東海市	0	-	<0.005	<0.005	<0.03	<0.03
			3	14	0.787	0.779	0.64	0.58
			3	21	0.530	0.517	0.36	0.36
		3	42	0.089	0.082	0.07	0.06	
	愛知県 知多市	0	-	0.013	0.012	<0.03	<0.03	
		3	14	1.12	1.10	1.05	1.03	
		3	21	1.34	1.34	0.69	0.66	
		3	42	0.330	0.313	0.20	0.20	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料 調製場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)	
					公的分析機関	
					プロロフェジン	
					最高値	平均値
					(一財)残留農薬研究所	
GLP 試験 ねぎ (露地) [茎葉] 平成 25 年度 資料No.87	20%水和剤 (707Aフル)	新潟植防	0	-	<0.01	<0.01
			1	14	0.03	0.03
			1	21	<0.01	<0.01
			1	28	<0.01	<0.01
	500 倍	日植防 宮崎試験場	0	-	<0.01	<0.01
			1	14	0.06	0.06
			1	21	0.10	0.09
			1	28	0.02	0.02
	3L/m ²	鹿児島県 農業環境 協会	0	-	<0.01	<0.01
			1	14	1.65	1.57
			1	21	0.55	0.54
			1	28	0.24	0.24
GLP 試験 にら (施設) [茎葉] 平成 25 年度 資料No.88	20%水和剤 (707Aフル)	日植防 茨城研究所	0	-	<0.01	<0.01
			1	14	0.12	0.12
			1	21	0.04	0.04
			1	28	0.06	0.06
	500 倍	日植防 高知試験場	0	-	<0.01	<0.01
			1	14	0.03	0.03
			1	21	0.02	0.02
			1	28	0.01	0.01
	3L/m ²	日植防 宮崎試験場	0	-	<0.01	<0.01
			1	14	0.50	0.48
			1	21	0.23	0.23
			1	28	0.39	0.38
株元灌注	日植防 宮崎試験場	0	-	<0.01	<0.01	
		1	14	0.50	0.48	
		1	21	0.23	0.23	
		1	28	0.39	0.38	

網掛けは追加提出

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					(財)残留農薬研究所		(財)日本食品分析 センター			
					最高値	平均値	最高値	平均値		
トマト (施設) 〔果 実〕 昭和56年度 No.1	25%水和剤 500倍 400 L/10a 散 布	日植防研	0	-	0.012	0.012	0.010	0.010		
			3	1	1.04	1.02	0.900	0.890		
			3	3	0.991	0.966	1.32	1.22		
			3	7	0.921	0.919	1.14	1.07		
			3	14	0.941	0.911	0.820	0.810		
			3	21	0.710	0.679	0.560	0.540		
	滋賀短大	0	-	0.010	0.010	0.006	0.006			
		3	1	0.498	0.494	0.460	0.450			
		3	3	0.186	0.180	0.290	0.280			
		3	7	0.258	0.256	0.350	0.325			
		3	14	0.187	0.186	0.205	0.205			
		3	21	0.192	0.191	0.130	0.123			
							(財)残留農薬研究所		日本農薬(株)	
		トマト (施設) 〔果 実〕 昭和58年度 No.10	25%水和剤 1000倍 400 L/10a 散 布	日植防研	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
3	1				0.409	0.405	0.281	0.276		
3	3				0.284	0.256	0.172	0.159		
3	7				0.275	0.266	0.160	0.156		
3	14				0.370	0.346	0.206	0.201		
3	21				0.370	0.346	0.206	0.201		
鳥取野菜試 (西伯)	0		-	0.005	0.005	<0.005	<0.005			
	3		1	0.308	0.306	0.358	0.348			
	3		3	0.201	0.201	0.229	0.222			
	3		7	0.175	0.163	0.255	0.222			
	3		14	0.135	0.129	0.204	0.175			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					-		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
トマト (施設) 〔果 実〕 平成5年度 No.35	25%水和剤 1000倍 300 ℓ/10a 散 布	岩手園試	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			1	1			0.050	0.046
			1	3			0.030	0.030
			1	7			0.020	0.019
	25%水和剤 1000倍 250 ℓ/10a 散 布	千葉農試 (北総)	3	1	/	/	0.285	0.282
			3	3			0.170	0.152
			3	7			0.138	0.132
			0	-			/	/
1	1	0.358	0.352					
1	3	0.251	0.232					
1	7	0.098	0.098					
トマト (施設) 〔果 実〕 平成5年度 No.36	25%水和剤 1000倍 300 ℓ/10a 散 布	福島植防	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			3	1			0.397	0.392
			3	3			0.316	0.316
			3	7			0.207	0.204
	25%水和剤 1000倍 300 ℓ/10a 散 布	長野植防 (松代)	0	-	/	/	<0.005	<0.005
			3	1			0.253	0.251
			3	3			0.305	0.302
			3	7			0.309	0.308
トマト (施設) 〔果 実〕 平成6年度 No.37	25%水和剤 ①1000倍 250 ℓ/10a ②1000倍 300 ℓ/10a 散 布	日植防研	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			①②	1			0.50	0.48
			1+2	3			0.33	0.30
			1+2	7			0.42	0.38
	25%水和剤 1000倍 300 ℓ/10a 散 布	長野植防 (南信)	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	1			0.31	0.30
			3	3			0.13	0.12
			3	7			0.06	0.06
25%水和剤 1000倍 250 ℓ/10a 散 布	愛知農総試	0	-	/	/	<0.01	<0.01	
		3	1			0.26	0.26	
		3	3			0.54	0.53	
		3	7			0.29	0.28	
25%水和剤 1000倍 300 ℓ/10a 散 布	日植防研 (宮崎)	0	-	/	/	<0.01	<0.01	
		3	1			0.61	0.61	
		3	3			0.35	0.34	
		3	7			0.45	0.44	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値 (ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所		(株)日本エコテック	
					最高値	平均値	最高値	平均値
トマト (施設) [果実] 平成7年度 No.48	20%水和剤 (フロアブル)* 2000倍 215,300ℓ/10a 散布	日植防研 (牛久)	0		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.35	0.34	0.40	0.36
			3	3	0.30	0.30	0.32	0.32
			3	7	0.21	0.21	0.26	0.25
	20%水和剤 (フロアブル)* 1000倍 215,300ℓ/10a 散布	日植防研 (牛久)	3	1	0.47	0.46	0.56	0.51
			3	3	0.37	0.37	0.51	0.46
	20%水和剤 (フロアブル)* 2000倍 300ℓ/10a 散布	日植防研 (宮崎)	3	7	0.23	0.22	0.36	0.36
			0		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.29	0.28	0.30	0.30
			3	3	0.13	0.13	0.13	0.12
20%水和剤 (フロアブル)* 1000倍 300ℓ/10a 散布	日植防研 (宮崎)	3	7	0.14	0.14	0.13	0.13	
		3	1	0.37	0.36	0.39	0.38	
		3	3	0.32	0.31	0.34	0.32	
3	日植防研 (宮崎)	3	7	0.29	0.28	0.26	0.24	
		0	-					
		3	1			<0.01	<0.01	
トマト (施設) [果実] 平成8年度 No.49-(1)	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300ℓ/10a 散布	福島植防	0	-				
			3	1			0.53	0.52
トマト (施設) [果実] 平成9年度 No.49-(2)	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300ℓ/10a 散布	長野農試 (中信)	0	-			<0.005	<0.005
			3	1			0.461	0.457
ピーマン (施設) [果実] 平成18年度 資料No.78	20%水和剤 (フロアブル)* 800倍 200L/10a 散布	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.72	0.72	0.36	0.36
			3	3	0.62	0.61	0.49	0.48
			3	7	0.25	0.25	0.23	0.22
	20%水和剤 (フロアブル)* 800倍 250L/10a 散布	日植防研 (高知)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	1.25	1.23	1.10	1.08
			3	3	1.06	1.04	0.76	0.76
			3	7	0.82	0.79	0.26	0.26
			0	-				
			3	1				

* : フェンピロキシメート 4.0% + プロフェジン 20.0%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剂 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					(財)残留農薬研究所		日本農薬(株)		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
なす (施設) [果 実] 昭和61年度 No.15	25%水和剤 2000倍 300 ℓ/10a 散 布	日植防研	0	-	0.005	0.005	<0.005	<0.005	
			3	1	0.230	0.227	0.120	0.099	
			3	3	0.171	0.170	0.066	0.053	
	0		-	0.005	0.005	<0.005	<0.005		
	3		1	0.372	0.362	0.244	0.198		
	3		3	0.356	0.344	0.252	0.198		
	25%水和剤 1000倍 300 ℓ/10a 散 布	滋賀短大	0	-	0.005	0.005	<0.005	<0.005	
			3	1	0.439	0.436	0.248	0.199	
			3	3	0.210	0.204	0.171	0.160	
	25%水和剤 2000倍 300 ℓ/10a 散 布		日植防研	0	-	0.005	0.005	<0.005	<0.005
				3	1	0.126	0.124	0.054	0.051
				3	3	0.094	0.088	0.061	0.050
25%水和剤 1500倍 300 ℓ/10a 散 布	滋賀短大	0		-	0.005	0.005	<0.005	<0.005	
		3		1	0.137	0.128	0.047	0.037	
		3		3	0.113	0.108	0.066	0.058	
25%水和剤 1000倍 300 ℓ/10a 散 布		日植防研	0	-	0.005	0.005	<0.005	<0.005	
			3	1	0.134	0.132	0.098	0.098	
			3	3	0.107	0.103	0.098	0.089	
					(財)日本医療食協会		日本エコテック㈱		
なす (施設) [果 実] 平成8年度 No.50	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 250 ℓ/10a 散 布		群馬植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
				3	1	0.42	0.40	0.50	0.48
		3		3	0.27	0.27	0.15	0.14	
		3		7	0.10	0.10	0.09	0.08	
	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 ℓ/10a 散 布	高知 農技センター	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	1	0.38	0.38	0.44	0.42	
			3	3	0.26	0.24	0.24	0.24	
			3	7	0.05	0.04	0.04	0.04	
なす (施設) [果 実] 平成8年度 No.51	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 ℓ/10a 散 布	埼玉植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01	
			3	1	/	/	0.27	0.26	
	1000倍 300 ℓ/10a 散 布	徳島植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01	
			3	1	/	/	0.04	0.04	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					ブプロフェジン		ブプロフェジン	
					最高値	平均値	最高値	平均値
					(財)日本食品分析センター			
ししとう (施設) [果実] 平成 19 年度 資料No.80-1	20%水和剤 (フロアブル)* 1000 倍 300L/10a 散布	高知 農技センター	0	-	<0.05	<0.05	/	
			2	1	2.98	2.98		
			2	3	1.49	1.48		
			2	7	0.45	0.44		
					(株)化学分析コンサルタント			
ししとう (施設) [果実] 平成 21 年度 資料No.80-2	20%水和剤 (フロアブル)* 1000 倍 284L/10a 散布	日植防研 (高知)	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	1	3.73	3.64		
			2	3	3.52	3.43		
			2	7	1.21	1.20		
					京都府農業総合研究所			
甘長とうがらし (施設) [果実] 平成 18 年度 資料No.79-1	20%水和剤 (フロアブル)* 800 倍 200L/10a 散布	京都農総研	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	1	1.08	1.06		
			2	3	0.74	0.72		
			2	7	0.50	0.50		
			0	-	<0.01	<0.01		
			3	1	2.12	2.10		
3	3	0.95	0.92					
3	7	0.64	0.62					
甘長とうがらし (施設) [果実] 平成 19 年度 資料No.79-2	20%水和剤 (フロアブル)* 800 倍 200L/10a 散布	京都農総研	0	-	<0.01	<0.01	/	
			1	1	2.38	2.35		
			1	3	1.69	1.67		
			1	7	0.77	0.76		
			0	-	<0.01	<0.01		
			2	1	2.59	2.48		
2	3	2.04	2.04					
2	7	1.43	1.38					

* フェンピロキシメート 4.0%+ブプロフェジン 20.0%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所		(財)日本食品分析 センター	
					最高値	平均値	最高値	平均値
きゅうり (施設) 〔果実〕 昭和56年度 No.2	25%水和剤 500倍 400ℓ/10a 散布	鯉淵学園	0	-	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005
			3	1	0.566	0.554	0.740	0.730
			3	3	0.337	0.327	0.540	0.530
			3	7	0.099	0.092	0.118	0.111
			3	14	0.046	0.044	0.023	0.022
	3	21	0.025	0.024	0.012	0.010		
	25%水和剤 500倍 115ℓ/10a 散布	神奈川 農総研	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	1	0.094	0.090	0.260	0.250
			3	3	0.128	0.127	0.171	0.165
			3	7	0.065	0.065	0.094	0.090
3			14	0.042	0.041	0.044	0.044	
3	21	0.021	0.020	0.030	0.028			
					日本農薬(株)			
きゅうり (施設) 〔果実〕 平成4年度 No.38	25%水和剤 ①1000倍 220ℓ/10a ②1000倍 300ℓ/10a 散布	日植防研	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			①② 1+2	1			0.80	0.75
			1+2	3			0.25	0.25
			1+2	7			0.09	0.08
	25%水和剤 1000倍 300ℓ/10a 散布	石川植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	1			0.35	0.35
			3	3			0.10	0.10
			3	7			0.05	0.05
	日植防研 (高知)	0	-	/	/	<0.01	<0.01	
		3	1			0.75	0.68	
		3	3			0.30	0.30	
		3	7			0.09	0.09	
日植防研 (宮崎)	0	-	/	/	<0.01	<0.01		
	3	1			0.36	0.36		
	3	3			0.22	0.21		
	3	7			0.09	0.09		
					日本エコテック(株)			
きゅうり (施設) 〔果実〕 平成6年度 No.39	25%水和剤 1000倍 242ℓ/10a 散布	群馬植防	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	1			0.53	0.52
			3	3			0.22	0.22
			3	7			0.06	0.06
	25%水和剤 1000倍 250ℓ/10a 散布	長野植防 (南信)	0	-	/	/	<0.01	<0.01
			3	1			0.40	0.38
			3	3			0.15	0.14
			3	7			0.06	0.06

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本医療食協会		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
きゅうり (施設) [果 実] 平成8年度 No.52	20%水和剤 (7077フル) 1000倍 300 L/10a 散 布	群馬植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.36	0.34	0.37	0.36
			3	3	0.07	0.07	0.11	0.10
			3	7	0.03	0.03	0.04	0.04
		愛知農総試 (安城)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	0.44	0.44	0.46	0.45
			3	3	0.14	0.14	0.19	0.19
			3	7	0.04	0.04	0.04	0.04
きゅうり (施設) [果 実] 平成8年度 No.53	20%水和剤 (7077フル) 1000倍 300 L/10a 散 布	長野営農 センター	0	-			<0.01	<0.01
			3	1			0.40	0.39
		日植防 (高知)	0	-			<0.01	<0.01
			3	1			0.45	0.44

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財) 残留農薬研究所		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
すいか (施設) [果実] 平成 20 年度 資料No.84	* フロアブル (20.0%) 1000 倍	石川植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	<0.01	<0.01	0.01	0.01
			3	7	0.01	0.01	0.02	0.02
			3	14	0.01	0.01	0.02	0.02
	300L/10a 散布	熊本県農業 研究センター	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	<0.01	<0.01	0.01	0.01
			3	7	<0.01	<0.01	0.01	0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
メロン (施設) [果実] 平成 20 年度 資料No.85	* フロアブル (20.0%) 1000 倍	石川植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	300L/10a 散布	熊本県農業 研究センター	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

*フェンピロキシメート 4.0%+プロフェジン 20.0%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所		日本農薬(株)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
温州みかん 〔果 肉〕 昭和56年度 No.4	25%水和剤 500倍	愛媛果試	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			5	7	<0.005	<0.005	0.04	0.04
			5	14	0.013	0.013	0.04	0.04
			5	21	0.016	0.016	0.03	0.03
			5	31	0.007	0.006	0.01	0.01
	500 g/10a 散 布	神奈川園試 (根府川分場)	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			5	7	0.183	0.183	0.24	0.24
			5	14	0.072	0.071	0.06	0.06
			5	21	0.022	0.022	0.06	0.06
			5	30	0.044	0.043	0.05	0.05
温州みかん 〔果 皮〕 昭和56年度 No.4	25%水和剤 500倍	愛媛果試	0	-	<0.01	<0.01	<0.03	<0.03
			5	7	0.23	0.22	0.27	0.26
			5	14	0.61	0.61	0.73	0.72
			5	21	0.74	0.71	0.46	0.45
			5	31	0.47	0.46	0.28	0.28
	500 g/10a 散 布	神奈川園試 (根府川分場)	0	-	<0.01	<0.01	<0.03	<0.03
			5	7	2.61	2.60	2.7	2.6
			5	14	0.82	0.80	0.85	0.80
			5	21	0.40	0.40	0.65	0.65
			5	30	0.63	0.62	0.50	0.49
温州みかん 〔ジュース〕 昭和56年度 No.4	25%水和剤 500倍	愛媛果試	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			5	7	0.015	0.014	0.01	0.01
	500 g/10a 散 布	神奈川園試 (根府川分場)	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			5	7	0.019	0.018	0.02	0.02

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)						
					公的分析機関		社内分析機関				
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック(株)				
					最高値	平均値	最高値	平均値			
温州みかん (施設) 〔果 肉〕 平成5年度 No.29	①25%水和剤 1000倍 700 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 700 ℓ/10a 散 布	静岡柑試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
			①②								
			4+1	14	0.24	0.23	0.14	0.14			
			4+1	28	0.17	0.16	0.02	0.02			
			4+1	42	0.14	0.14	0.14	0.14			
			3+2	14	0.10	0.10	0.04	0.04			
			3+2	28	0.20	0.20	0.01	0.01			
			3+2	42	0.09	0.09	0.06	0.06			
平成5年度 No.29	①25%水和剤 1000倍 700 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 700 ℓ/10a 散 布	愛知農総試 (蒲郡)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
			①②								
			4+1	14	0.03	0.03	0.02	0.02			
			4+1	28	0.03	0.03	0.01	0.01			
			4+1	42	0.01	0.01	<0.01	<0.01			
			3+2	14	0.03	0.03	0.01	0.01			
			3+2	28	0.04	0.04	0.02	0.02			
			3+2	42	0.02	0.02	<0.01	<0.01			
温州みかん (施設) 〔果 皮〕 平成5年度 No.29	①25%水和剤 1000倍 700 ℓ/108 ②10%乳剤* 750倍 700 ℓ/10a 散 布	静岡柑試	0	-	0.07	0.07	0.13	0.12			
			①②								
			4+1	14	7.02	6.99	11.33	11.05			
			4+1	28	4.58	4.55	8.01	7.75			
			4+1	42	3.24	3.22	7.66	7.62			
			3+2	14	2.45	2.42	3.39	3.26			
			3+2	28	3.79	3.78	5.44	5.38			
			3+2	42	1.49	1.45	3.13	3.06			
		平成5年度 No.29	①25%水和剤 1000倍 700 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 700 ℓ/10a 散 布	愛知農総試 (蒲郡)	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	
					①②						
					4+1	14	0.90	0.88	1.07	1.06	
					4+1	28	0.66	0.66	0.95	0.94	
					4+1	42	0.32	0.32	0.52	0.51	
					3+2	14	0.91	0.88	1.48	1.40	
3+2	28	1.13	1.12	1.61	1.58						
3+2	42	0.42	0.41	0.51	0.46						

*:アミトラス 10.0%+プロフェジン 10.0%

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析値(ppm)						
					公的分析機関			社内分析機関			
					(財)日本食品分析センター			日本エコテック㈱			
					果肉	果皮	ホール換算直	果肉	果皮	ホール換算直	
温州みかん 〔果実〕	①25%水和剤 1000倍 700 l/10a ②10%乳剤* 750倍 700 l/10a 散布	静岡柑試	0	-	<0.01	0.07	0.02	<0.01	0.12	0.03	
			①②								
			4+1	14	0.23	6.99	1.56	0.14	11.05	1.73	
			4+1	28	0.16	4.55	0.81	0.02	7.75	1.62	
			4+1	42	0.14	3.22	0.49	0.14	7.62	1.42	
			3+2	14	0.10	2.42	0.65	0.04	3.26	0.84	
			3+2	28	0.20	3.78	0.85	0.01	5.38	1.42	
			3+2	42	0.09	1.45	0.44	0.06	3.06	0.65	
			3+2	42	0.09	1.45	0.44	0.06	3.06	0.65	
平成5年度 No.29	①25%水和剤 1000倍 700 l/10a ②10%乳剤* 750倍 700 l/10a 散布	愛知農総試 (蒲郡)	0	-	<0.01	<0.04	<0.02	<0.01	<0.05	<0.02	
			①②								
			4+1	14	0.03	0.88	0.20	0.02	1.06	0.27	
			4+1	28	0.03	0.66	0.17	0.01	0.94	0.22	
			4+1	42	0.01	0.32	0.10	<0.01	0.51	0.16	
			3+2	14	0.03	0.88	0.23	0.01	1.40	0.26	
			3+2	28	0.04	1.12	0.27	0.02	1.58	0.26	
			3+2	42	0.02	0.41	0.12	<0.01	0.46	0.13	
			3+2	42	0.02	0.41	0.12	<0.01	0.46	0.13	

* :アミラズ 10.0%+プロフェジン 10.0%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック㈱		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
温州みかん (施設) [果肉]	①25%水和剤 1000倍 700 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 700 ℓ/10a 散布	静岡柑試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			①②						
			1+1	14	0.01	0.01	<0.01	<0.01	
			1+1	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	1+1	42	0.01	0.01	<0.01	<0.01			
	2+1	14	0.01	0.01	<0.01	<0.01			
平成6年度 No.32	①25%水和剤 1000倍 700 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 700 ℓ/10a 散布	高知農技 センター	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			①②						
			1+1	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			1+1	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	1+1	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
	2+1	14	0.02	0.02	<0.01	<0.01			
温州みかん (施設) [果皮]	①25%水和剤 1000倍 700 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 700 ℓ/10a 散布	静岡柑試	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	
			①②						
			1+1	14	0.51	0.51	0.62	0.55	
			1+1	28	0.38	0.36	0.32	0.32	
	1+1	42	0.44	0.42	0.46	0.45			
	2+1	14	0.40	0.39	0.36	0.36			
平成6年度 No.32	①25%水和剤 1000倍 700 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 700 ℓ/10a 散布	高知農技 センター	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	
			①②						
			1+1	14	0.40	0.40	0.35	0.32	
			1+1	28	0.19	0.18	0.12	0.12	
	1+1	42	0.11	0.10	0.15	0.14			
	2+1	14	0.64	0.62	0.54	0.54			
2+1	28	0.40	0.38	0.38	0.34				
2+1	42	0.17	0.17	0.17	0.16				

*: アミラズ 10.0% + プロフェジン 10.0%

参考資料

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析値(ppm)								
					公的分析機関			社内分析機関					
					(財)日本食品分析センター			日本エコテック㈱					
					果肉	果皮	ホール 換算値	果肉	果皮	ホール 換算値			
温州みかん [果実]	①25%水和剤 1000倍 700 l/10a	静岡柑試	0	-	<0.01	<0.04	<0.01	<0.01	<0.05	<0.02			
			①②										
			1+1	14	0.01	0.51	0.08	<0.01	0.55	0.10			
			1+1	28	<0.01	0.36	0.06	<0.01	0.32	0.07			
	1+1		42	0.01	0.42	0.07	<0.01	0.45	0.07				
	②10%乳剤* 750倍 700 l/10a 散布		2+1	14	0.01	0.39	0.05	<0.01	0.36	0.05			
			2+1	28	0.01	0.42	0.06	<0.01	0.32	0.05			
			2+1	42	<0.01	0.33	0.06	<0.01	0.26	0.04			
			平成6年度 No.32	①25%水和剤 1000倍 700 l/10a	高知農技 センター	0	-	<0.01	<0.04	<0.01	<0.01	<0.05	<0.02
						①②							
1+1		14				<0.01	0.40	0.07	<0.01	0.35	0.07		
1+1	28	<0.01				0.18	0.04	<0.01	0.12	0.03			
1+1	42	<0.01		0.10		0.03	<0.01	0.14	0.04				
②10%乳剤* 750倍 700 l/10a 散布	2+1	14		0.02		0.62	0.13	<0.01	0.54	0.12			
	2+1	28		0.02		0.38	0.10	<0.01	0.34	0.09			
	2+1	42	<0.01	0.17	0.05	<0.01	0.16	0.05					

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
温州みかん (施設) 〔果 肉〕 平成6年度 No.33	25%水和剤 1000倍 700 ℓ/10a 散 布	愛知農総試 (蒲郡)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	0.01	0.01
			2	28	<0.01	<0.01	0.02	0.02
			2	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.01	0.01	0.01	0.01
			3	28	<0.01	<0.01	0.03	0.02
		高知農技 センター	3	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	0.02	0.02	<0.01	<0.01
			2	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.02	0.02	<0.01	<0.01
			3	28	0.01	0.01	<0.01	<0.01
			3	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
温州みかん (施設) 〔果 皮〕 平成6年度 No.33	25%水和剤 1000倍 700 ℓ/10a 散 布	愛知農総試 (蒲郡)	0	-	0.07	0.07	0.14	0.14
			2	14	0.41	0.40	1.71	1.68
			2	28	0.25	0.25	0.89	0.88
			2	42	0.10	0.10	0.31	0.30
			3	14	0.47	0.46	1.62	1.57
			3	28	0.43	0.43	0.90	0.84
		高知農技 センター	3	42	0.17	0.16	0.50	0.48
			0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05
			2	14	0.31	0.30	0.41	0.40
			2	28	0.06	0.06	0.22	0.22
			2	42	0.06	0.06	0.17	0.16
			3	14	0.35	0.34	0.82	0.82
			3	28	0.21	0.20	0.62	0.62
			3	42	0.14	0.14	0.18	0.18

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

参考資料

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)					
					公的分析機関			社内分析機関		
					(財)日本食品分析センター			日本エコテック㈱		
					果肉	果皮	ホール 換算値	果肉	果皮	ホール 換算値
温州みかん 〔果 実〕 平成6年度 No.33	25%水和剤 1000倍 700 l/10a 散 布	愛知農総試 (蒲郡)	0	-	<0.01	0.07	0.02	<0.01	0.14	0.03
			2	14	<0.01	0.41	0.08	0.01	1.71	0.31
			2	28	<0.01	0.25	0.05	0.02	0.89	0.18
			2	42	<0.01	0.10	0.03	<0.01	0.31	0.07
			3	14	0.01	0.47	0.08	0.01	1.62	0.28
			3	28	<0.01	0.43	0.08	0.03	0.90	0.18
			3	42	<0.01	0.17	0.04	<0.01	0.50	0.10
			3	42	<0.01	0.10	0.03	<0.01	0.31	0.07
		高知農技 センター	0	-	<0.01	<0.04	<0.01	<0.01	<0.05	<0.02
			2	14	0.02	0.31	0.07	<0.01	0.41	0.08
			2	28	<0.01	0.06	0.02	<0.01	0.22	0.05
			2	42	<0.01	0.06	0.02	<0.01	0.17	0.04
			3	14	0.02	0.35	0.07	<0.01	0.82	0.15
			3	28	0.01	0.21	0.04	<0.01	0.62	0.12
3	42	<0.01	0.14	0.03	<0.01	0.18	0.04			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
温州みかん (施設) 〔果 肉〕 平成8年度 No.54	20%水和剤 (フロアブル)	愛知農総試 (蒲郡支)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	14	0.063	0.062	0.081	0.081
			3	28	0.077	0.073	0.076	0.076
			3	42	0.032	0.032	0.035	0.034
	1000倍 700 ㍓/10a 散 布	徳島植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	14	0.042	0.040	0.055	0.052
			3	30	0.022	0.022	0.033	0.032
			3	42	0.020	0.020	0.022	0.022
温州みかん (施設) 〔果 皮〕 平成8年度 No.54	20%水和剤 (フロアブル)	愛知農総試 (蒲郡支)	0	-	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04
			3	14	0.84	0.82	0.91	0.88
			3	28	1.20	1.16	1.14	1.10
			3	42	0.49	0.46	0.43	0.42
	1000倍 700 ㍓/10a 散 布	徳島植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04
			3	14	0.96	0.96	1.56	1.56
			3	30	0.52	0.51	0.79	0.78
			3	42	0.34	0.33	0.58	0.56

参考資料

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)					
					公的分析機関			社内分析機関		
					(財)日本食品分析センター			日本エコテック㈱		
					果肉	果皮	ホール 換算値	果肉	果皮	ホール 換算値
温州みかん (施設) 〔果 実〕 平成8年度 No.54	20%水和剤 (フロアブル)	愛知農総試 (蒲郡支)	0	-	<0.005	<0.02	<0.02	<0.005	<0.04	<0.012
			3	14	0.062	0.82	0.19	0.081	0.88	0.216
			3	28	0.073	1.16	0.28	0.076	1.10	0.270
			3	42	0.032	0.46	0.11	0.034	0.42	0.102
	1000倍 700 ㍓/10a 散 布	徳島植防	0	-	<0.005	<0.02	<0.02	<0.005	<0.04	<0.013
			3	14	0.040	0.96	0.28	0.052	1.56	0.450
			3	30	0.022	0.51	0.15	0.032	0.78	0.226
			3	42	0.020	0.33	0.10	0.022	0.56	0.159

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
夏みかん 〔果肉〕 平成6年度 No.30	①25%水和剤 1000倍 500 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 500 ℓ/10a 散 布	千葉暖地 園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
			①②					
			3+0	45	<0.01	<0.01	0.011	0.010
			3+0	60	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
	3+0		90	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
	2+1		45	<0.01	<0.01	0.010	0.010	
	2+1		60	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
	2+1		90	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
夏みかん 〔果皮〕 平成6年度 No.30	①25%水和剤 1000倍 600 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 600 ℓ/10a 散 布	徳島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
			①②					
			3+0	45	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
			3+0	60	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
	3+0		89	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
	2+1		45	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
	2+1		60	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
	2+1		89	<0.01	<0.01	0.007	0.007	
夏みかん 〔果皮〕 平成6年度 No.30	①25%水和剤 1000倍 500 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 500 ℓ/10a 散 布	千葉暖地 園試	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05
			①②					
			3+0	45	0.16	0.16	0.27	0.26
			3+0	60	0.15	0.15	0.17	0.17
	3+0		90	<0.04	<0.04	0.05	0.05	
	2+1		45	0.13	0.12	0.23	0.22	
	2+1		60	0.12	0.12	0.12	0.10	
	2+1		90	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	
夏みかん 〔果皮〕 平成6年度 No.30	①25%水和剤 1000倍 600 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 600 ℓ/10a 散 布	徳島植防	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05
			①②					
			3+0	45	0.16	0.16	0.21	0.20
			3+0	60	0.20	0.20	0.24	0.23
	3+0		89	0.19	0.19	0.13	0.10	
	2+1		45	0.12	0.12	0.10	0.10	
	2+1		60	0.20	0.19	0.14	0.12	
	2+1		89	0.10	0.10	0.13	0.12	

* :アミトラズ 10.0%+プロフェジン 10.0%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

参考資料

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)					
					公的分析機関			社内分析機関		
					(財)日本食品分析センター			日本エコテック㈱		
					果肉	果皮	ホール 換算値	果肉	果皮	ホール 換算値
夏みかん 〔果実〕	①25%水和剤 1000倍 500 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 500 ℓ/10a 散布	千葉県 暖地 園試	0	-	<0.01	<0.04	<0.02	<0.005	<0.05	<0.02
			①②							
			3+0	45	<0.01	0.16	0.05	0.010	0.26	0.10
			3+0	60	<0.01	0.15	0.05	<0.005	0.17	0.06
			3+0	90	<0.01	<0.04	<0.02	<0.005	0.05	0.02
			2+1	45	<0.01	0.12	0.05	0.010	0.22	0.09
	2+1		60	<0.01	0.12	0.05	<0.005	0.10	0.05	
	2+1		90	<0.01	<0.04	<0.02	<0.005	<0.05	<0.02	
	平成6年度 No.30		①25%水和剤 1000倍 600 ℓ/10a ②10%乳剤* 750倍 600 ℓ/10a 散布	徳島植防	0	-	<0.01	<0.04	<0.02	<0.005
①②										
3+0	45	<0.01			0.16	0.06	<0.005	0.20	0.07	
3+0	60	<0.01			0.20	0.07	<0.005	0.23	0.08	
3+0	89	<0.01			0.19	0.07	<0.005	0.10	0.05	
2+1	45	<0.01			0.12	0.04	<0.005	0.10	0.04	
2+1	60	<0.01	0.19		0.06	<0.005	0.12	0.05		
2+1	89	<0.01	0.10		0.04	0.007	0.12	0.05		

* :アミトラス 10.0%+プロフェジン 10.0%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
夏みかん 〔果肉〕 平成8年度 No.55	20%水和剤 (707ﾌﾞﾙ) 1000倍 700 ㍓/10a 散 布	三重農技 センター (紀南)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	44	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	56	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	87	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		徳島植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	42	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	57	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	86	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
夏みかん 〔果皮〕 平成8年度 No.55	20%水和剤 (707ﾌﾞﾙ) 1000倍 700 ㍓/10a 散 布	三重農技 センター (紀南)	0	-	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04
			3	44	0.11	0.11	0.13	0.12
			3	56	0.05	0.04	0.07	0.06
			3	87	0.02	0.02	<0.04	<0.04
		徳島植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04
			3	42	0.11	0.11	0.16	0.16
			3	57	0.11	0.10	0.11	0.11
			3	86	0.03	0.02	<0.04	<0.04

参考資料

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)					
					公的分析機関			社内分析機関		
					(財)日本食品分析センター			日本エコテック㈱		
					果肉	果皮	ホール 換算値	果肉	果皮	ホール 換算値
夏みかん 〔果実〕 平成8年度 No.55	20%水和剤 (707ﾌﾞﾙ) 1000倍 700 ㍓/10a 散 布	三重農技 センター (紀南)	0	-	<0.005	<0.02	0.01	<0.005	<0.04	<0.017
			3	44	<0.005	0.11	0.03	<0.005	0.12	0.038
			3	56	<0.005	0.04	0.02	<0.005	0.06	0.022
			3	87	<0.005	0.02	0.01	<0.005	<0.04	<0.016
		徳島植防	0	-	<0.005	<0.02	0.01	<0.005	<0.04	<0.016
			3	42	<0.005	0.11	0.04	<0.005	0.16	0.050
			3	57	<0.005	0.10	0.03	<0.005	0.10	0.035
			3	86	<0.005	0.02	0.01	<0.005	<0.04	<0.016

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					日本エコテック㈱		-	
					最高値	平均値	最高値	平均値
レモン [果実] 平成6年度 No.43	25%水和剤 1000倍 500 ℓ/10a 散 布	愛媛果試 (岩城)	0	-	0.01	0.01	/	/
			3	42	0.48	0.48		
			3	56	0.70	0.69		
			3	84	0.29	0.29		
	①25%水和剤 1000倍 ②10%乳剤* 750倍 500 ℓ/10a 散 布		0	-	0.01	0.01	/	/
			①② 2+1	42	0.30	0.28		
			2+1	56	0.20	0.20		
			2+1	84	0.11	0.10		
スイートオレンジ [果実] 平成7年度 No.44	25%水和剤 1000倍 500 ℓ/10a 散 布	佐賀果試	0	-	<0.01	<0.01	/	/
			3	42	0.64	0.62		
			3	56	0.54	0.54		
			3	84	0.63	0.60		
	①25%水和剤 1000倍 ②10%乳剤* 750倍 500 ℓ/10a 散 布		0	-	<0.01	<0.01	/	/
			①② 2+1	42	0.37	0.36		
			2+1	56	0.26	0.26		
			2+1	84	0.23	0.22		
					(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント	
ゆ ず [果実] 平成2年度 No.24	25%水和剤 1000倍 500 ℓ/10a 散 布	大分宇佐 防除所	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	14	0.07	0.07	0.04	0.04
			1	28	0.02	0.02	0.02	0.02
			1	98	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	0.05	0.05	0.05	0.05
			2	28	0.03	0.03	0.02	0.02
			2	56	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
					(財)日本食品分析センター		日本エコテック㈱	
ゆ ず [果実] 平成5年度 No.31	10%乳剤* 750倍 450 ℓ/10a 散 布	大分柑橘試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	14	0.11	0.10	0.09	0.09
			1	28	0.09	0.08	0.07	0.06
			1	102	0.02	0.02	0.01	0.01
			2	13	0.03	0.02	0.03	0.03
			2	28	0.05	0.04	0.03	0.03
			2	51	0.03	0.03	<0.01	<0.01
			0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

* :アミトラズ 10.0%+プロフェジン 10.0%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					日本エコテック㈱		-	
					最高値	平均値	最高値	平均値
すだち 〔果実〕 平成6年度 No.34	25%水和剤 1000倍 500 ℓ/10a 散布	徳島植防	0	-	<0.01	<0.01		
			3	14	0.23	0.22		
			3	28	0.09	0.08		
			3	42	0.02	0.02		
	①25%水和剤 1000倍 ②10%乳剤* 750倍 500 ℓ/10a 散布		①②					
			2+1	14	0.04	0.04		
			2+1	28	0.01	0.01		
			2+1	42	0.01	0.01		
すだち 〔果実〕 平成10年度 No.65	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 700 ℓ/10a 散布	徳島植防	0	-	<0.005	<0.005		
			3	28	0.053	0.052		
			3	42	0.012	0.012		
			3	56	0.014	0.013		
かぼす 〔果実〕 平成10年度 No.65	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 700 ℓ/10a 散布	大分植防	0	-	<0.005	<0.005		
			3	28	0.179	0.178		
			3	42	<0.005	<0.005		
			3	65	<0.005	<0.005		
だいたい 〔果実〕 平成6年度 No.42	25%水和剤 1000倍 500 ℓ/10a 散布	静岡柑試	0	-	<0.01	<0.01		
			3	42	0.01	0.01		
			3	75	<0.01	<0.01		
			3	89	<0.01	<0.01		
	①25%水和剤 1000倍 ②10%乳剤* 750倍 500 ℓ/10a 散布		①②					
			2+1	42	<0.01	<0.01		
			2+1	75	<0.01	<0.01		
			2+1	89	<0.01	<0.01		
だいたい 〔果実〕 平成6年度 No.42	25%水和剤 1000倍 500 ℓ/10a 散布	広島農技 センター	0	-	<0.01	<0.01		
			3	42	0.53	0.51		
			3	56	0.19	0.18		
			3	86	0.16	0.16		
	①25%水和剤 1000倍 ②10%乳剤* 750倍 500 ℓ/10a 散布		①②					
			2+1	42	0.07	0.06		
			2+1	56	0.09	0.08		
			2+1	86	0.07	0.06		

* : アミトラズ10.0%+ブプロフェジン10.0%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録 No.	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析値 (ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					(財)日本食品分析センター		日本エコテック㈱		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
りんご 〔果実〕 平成10年度 No.59	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 700 ℓ/10a 散 布	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
			2	14	0.35	0.35	0.299	0.296	
			2	28	0.16	0.16	0.178	0.177	
			2	42	0.19	0.18	0.143	0.136	
		長野植防 (南信)	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
			2	14	0.11	0.11	0.096	0.092	
			2	29	0.08	0.08	0.047	0.047	
			2	44	0.06	0.06	0.043	0.042	
					(財)日本食品分析センター	(株)化学分析コンサルタント			
なし 〔果実〕 昭和63年度 No.18	25%水和剤 2000倍 400 ℓ/10a 散 布	福島植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	45	0.024	0.022	0.017	0.017	
			2	60	0.011	0.010	0.014	0.014	
		鳥取果試	2	30	0.172	0.168	0.148	0.147	
			2	45	0.061	0.060	0.060	0.057	
			2	60	0.049	0.047	0.041	0.040	
	25%水和剤 2000倍 400 ℓ/10a 散 布	鳥取果試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	45	0.019	0.018	0.024	0.024	
			2	60	0.013	0.013	0.023	0.022	
		25%水和剤 1000倍 400 ℓ/10a 散 布	鳥取果試	2	30	0.114	0.109	0.157	0.156
				2	45	0.111	0.110	0.101	0.101
				2	60	0.021	0.020	0.029	0.028
					-	日本エコテック㈱			
なし 〔果実〕 平成3年度 No.23	25%水和剤 1000倍 400 ℓ/10a 散 布	長野植防 (南信)	0	-	/	/	<0.005	<0.005	
			2	29			0.095	0.094	
			2	43			0.056	0.056	
		千葉農試	0	-			<0.005	<0.005	
			2	30			0.062	0.062	
			2	44			0.050	0.050	
					(財)日本食品分析センター	日本エコテック㈱			
なし 〔果実〕 平成9年度 No.61	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 400 ℓ/10a 散 布	福島植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	28	0.863	0.853	0.842	0.821	
			2	42	0.398	0.394	0.521	0.502	
			2	56	0.032	0.031	0.066	0.066	
	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 625 ℓ/10a 散 布	三重農技 センター	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
			2	28	0.482	0.472	0.352	0.346	
			2	41	0.152	0.148	0.160	0.152	
			2	56	0.052	0.050	0.081	0.079	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	別 型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
びわ (施設・有袋) 〔果 実〕 平成3年度 No.20	25%水和剤 1000倍 400 ℓ/10a 散 布	静岡柑橘試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	14	0.052	0.051	0.074	0.074
			2	28	0.040	0.038	0.040	0.038
		長崎果試	2	42	0.038	0.038	0.041	0.040
			0	-	<0.005	<0.005	0.005	0.005
			2	14	0.088	0.084	0.073	0.067
			2	28	0.083	0.080	0.100	0.100
2	42	0.051	0.050	0.043	0.043			
もも 〔果 肉〕 平成4年度 No.25	25%水和剤 1000倍 138 ℓ/10a 散 布	山形園試	0	-	0.026	0.026	<0.005	<0.005
			3	14	0.169	0.168	0.205	0.198
			3	21	0.079	0.076	0.054	0.054
		長野植防 (南信)	3	28	0.075	0.074	0.077	0.074
			0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	14	0.083	0.082	0.060	0.060
3	21	0.010	0.010	0.024	0.020			
3	28	0.030	0.030	0.076	0.074			
もも 〔果 皮〕 平成4年度 No.25	25%水和剤 1000倍 138 ℓ/10a 散 布	山形園試	0	-	0.75	0.72	0.24	0.24
			3	14	7.32	7.26	6.56	6.34
			3	21	3.69	3.56	0.76	0.74
		長野植防 (南信)	3	28	2.52	2.42	1.98	1.93
			0	-	0.32	0.31	0.17	0.16
			3	14	1.98	1.92	1.33	1.25
3	21	0.16	0.16	0.19	0.18			
3	28	0.91	0.87	1.40	1.24			
もも 〔果 肉〕 平成9年度 No.62	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 ℓ/10a 散 布	長野果試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	7	0.499	0.484	0.471	0.467
			3	14	0.535	0.527	0.345	0.338
		徳島植防	3	21	0.352	0.346	0.217	0.212
			0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			3	7	0.159	0.484	0.170	0.168
3	14	0.155	0.527	0.132	0.132			
3	21	0.058	0.346	<0.005	<0.005			
もも 〔果 皮〕 平成9年度 No.62	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 ℓ/10a 散 布	長野果試	0	-	0.06	0.06	0.05	0.05
			3	7	20.8	20.3	15.3	15.3
			3	14	23.7	23.5	9.67	9.66
		徳島植防	3	21	11.9	11.6	4.82	4.78
			0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			3	7	3.11	3.06	2.27	2.26
3	14	2.92	2.88	1.53	1.46			
3	21	0.66	0.66	0.02	0.02			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)東京顕微鏡院		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
もも [果 肉] 平成11年度 No.63	20%水和剤 (707ﾌﾞﾙ) 1000倍 500 ㍓/10a 散 布	福島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.26	0.26	0.37	0.36
			3	21	0.24	0.24	0.35	0.34
			3	28	0.16	0.15	0.22	0.22
	3	42	0.05	0.05	0.04	0.04		
	20%水和剤 (707ﾌﾞﾙ) 1000倍 300 ㍓/10a 散 布	長野植防 (須坂)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	0.22	0.22	0.20	0.20
			3	21	0.16	0.15	0.19	0.19
3			28	0.13	0.12	0.12	0.11	
3	41	0.08	0.08	0.07	0.06			
もも [果 皮] 平成11年度 No.63	20%水和剤 (707ﾌﾞﾙ) 1000倍 500 ㍓/10a 散 布	福島植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.02	<0.02
			3	14	9.35	9.33	5.32	5.26
			3	21	8.15	8.09	4.46	4.46
			3	28	3.36	3.26	2.31	2.26
	3	42	1.41	1.41	0.41	0.40		
	20%水和剤 (707ﾌﾞﾙ) 1000倍 300 ㍓/10a 散 布	長野植防 (須坂)	0	-	<0.05	<0.05	<0.02	<0.02
			3	14	11.6	11.2	4.88	4.85
			3	21	7.59	7.40	4.35	4.34
3			28	6.37	6.36	2.33	2.32	
3	41	3.14	3.14	1.45	1.44			
ネクタリン [果 実] 平成16年度 No.70	20%水和剤 (707ﾌﾞﾙ) 1000倍	山梨果試	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	21	1.20	1.19		
			2	28	0.16	0.16		
			2	42	0.11	0.11		
	400 ㍓/10a 散 布	長野果試	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	21	0.50	0.50		
			2	28	0.32	0.32		
			2	42	0.14	0.13		
ネクタリン (露地) [果実] 平成 21 年度 資料No.81	20%水和剤 (707ﾌﾞﾙ) 1000 倍	日植防研 (山梨)	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	7	2.04	1.98		
			2	14	1.00	1.00		
			2	19	0.42	0.42		
	350~367L /10a 散布	長野植防 (須坂)	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	7	1.51	1.46		
			2	14	2.70	2.70		
			2	19	1.34	1.28		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					青森農林総研センター 環境保全部		-	
					最高値	平均値	最高値	平均値
あんず 〔果 実〕	20%水和剤 (70777ル) 1000倍 200 ℓ/10a 散 布	長野植防 (松代)	0	-	<0.02	<0.02	/	
			1	14	1.21	1.18		
			1	30	0.25	0.25		
			1	45	0.31	0.30		
平成16年度 No.71	20%水和剤 (70777ル) 1000倍 350 ℓ/10a 散 布	青森農林総研 センター りんご試県南 果研センター	0	-	<0.02	<0.02	/	
			1	14	0.92	0.92		
			1	30	0.10	0.10		
			1	45	0.19	0.19		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		日本農業(株)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
うめ 〔果実〕	25%水和剤 1000倍 800 ℓ/10a 散布	福井園試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			4	106	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
平成2年度 No.22	25%水和剤 1000倍 500 ℓ/10a 散布	和歌山 果園試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			4	136	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
					(財)日本食品分析 センター	日本エコテック㈱		
うめ 〔果実〕	20%水和剤 (フロアブル)	福井園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
			4	104	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
平成10年度 No.58	1000倍 500 ℓ/10a 散布	和歌山総農 技センター 果園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
			4	132	<0.01	<0.01	0.010	0.010
					(財)日本食品分析 センター	日本エコテック㈱		
うめ 〔果実〕	20%水和剤 (フロアブル)	群馬植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	43	0.037	0.036	0.083	0.082
			2	56	0.006	0.006	0.010	0.010
			2	84	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
平成11年度 No.60	1000倍 400 ℓ/10a 散布	徳島果試 (県北)	2	84	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	114	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	45	0.135	0.132	0.117	0.113
資料No.77	20%水和剤* (フロアブル)	福井植防	2	59	0.011	0.011	0.014	0.014
			2	88	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	112	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	114	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
うめ 〔果実〕 平成20年度 資料No.77	1000倍	徳島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	1.78	1.78	1.94	1.91
			2	14	0.62	0.62	0.75	0.72
			2	21	0.60	0.60	0.60	0.59
400L/10a 散布	福井植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		2	7	2.19	2.17	2.77	2.74	
		2	14	1.69	1.68	1.80	1.80	
		2	21	0.66	0.66	0.80	0.76	

* : フェンピロキシメート 4.0% + プロフェジン 20.0%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)					
					公的分析機関		社内分析機関			
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック㈱			
					最高値	平均値	最高値	平均値		
おうとう (施設) [果 実] 平成10年度 No.68	20%水和剤 (7077プル) 1000倍	岩手植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005		
			2	21	0.12	0.11	0.164	0.160		
			2	30	0.50	0.50	0.439	0.439		
			2	43	0.03	0.03	0.021	0.020		
	400 L/10a 散 布	日植防研 (福島)	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005		
			2	21	0.39	0.39	0.763	0.758		
			2	28	0.08	0.08	0.087	0.086		
			2	42	<0.01	<0.01	0.010	0.010		
おうとう (施設) [果実] 平成 21 年度 資料No.83	20%水和剤 (7077プル) 1000 倍	日植防研 (秋田)			日本エコテック㈱					
			0	-	<0.01	<0.01				
			2	7	1.20	1.18				
			2	14	1.43	1.42				
			2	21	0.67	0.66				
			450~555L /10a 散布	山形農総研 センター	0	-	<0.01	<0.01		
					2	7	1.50	1.45		
					2	14	1.83	1.70		
	2	21			1.48	1.41				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(株)残留農薬研究所		日本農薬(株)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
ぶどう (大粒種) (施設) 〔果実〕 昭和59年度 No.14	25%水和剤 4000倍 300 ℓ/10a 散 布	岡山農試	0	-			<0.005	<0.005
			2	31			<0.005	<0.005
			2	60			<0.005	<0.005
	25%水和剤 2000倍 300 ℓ/10a 散 布		0	-			<0.005	<0.005
			2	31			<0.005	<0.005
			2	60			<0.005	<0.005
	25%水和剤 2000倍 300 ℓ/10a 散 布		0	-			<0.005	<0.005
			2	31			0.011	0.010
2		60			<0.005	<0.005		
25%水和剤 1000倍 300 ℓ/10a 散 布	0	-			<0.005	<0.005		
	2	31			0.088	0.079		
	2	60			<0.005	<0.005		
ぶどう (小粒種) (施設) 〔果実〕 昭和60年度 No.13	25%水和剤 2000倍 400 ℓ/10a 散 布	石川 砂丘農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	31	0.297	0.292	0.183	0.175
			2	45	0.117	0.112	0.163	0.154
			2	61	0.116	0.114	0.112	0.106
	400 ℓ/10a 散 布	奈良農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	30	0.290	0.284	0.242	0.232
			2	45	0.131	0.130	0.152	0.138
			2	60	0.084	0.083	0.053	0.053
	25%水和剤 3000倍 400 ℓ/10a 散 布	石川 砂丘農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	31	0.186	0.185	0.188	0.180
			2	45	0.070	0.068	0.113	0.111
			2	61	0.043	0.041	0.040	0.040
400 ℓ/10a 散 布	奈良農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
		2	30	0.229	0.217	0.147	0.134	
		2	45	0.104	0.101	0.103	0.095	
		2	60	0.079	0.079	0.036	0.034	
					(財)東京顕微鏡院		日本エコテック(株)	
ぶどう (大粒種) (施設) 〔果実〕 平成12年度 No.64	20%水和剤 (70アブル) 1000倍 200 ℓ/10a 散 布	長野植防 (南信)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	30	0.19	0.18	0.18	0.18
			2	44	0.06	0.06	0.05	0.05
			2	58	0.02	0.02	0.06	0.06
ぶどう (小粒種) (施設) 〔果実〕 平成12年度 No.64	20%水和剤 (70アブル) 1000倍 300 ℓ/10a 散 布	石川 砂丘農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	30	0.24	0.22	0.26	0.26
			2	42	0.09	0.08	0.05	0.05
			2	57	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		(株)化学分析 コンサルタント	
					最高値	平均値	最高値	平均値
かき 〔果実〕 昭和63年度 No.16	25%水和剤 1000倍	和歌山 果園試 (紀北)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	21	0.097	0.097	0.075	0.074
			2	32	0.055	0.054	0.081	0.080
			2	44	0.038	0.036	0.043	0.043
			2	60	0.015	0.014	0.019	0.019
	500 g/10a 散 布	福岡農試 豊前分場	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	21	0.276	0.270	0.250	0.246
			2	30	0.255	0.248	0.154	0.153
			2	45	0.189	0.184	0.120	0.115
			2	60	0.074	0.071	0.056	0.056

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析センター		日本農薬(株)	
					最高値	平均値	最高値	平均値
キウイフルーツ 〔果 肉〕 平成元年 平成2年度 No.21	25%水和剤 1000倍	山口萩柑試 (平成元年)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	0.023	0.022	0.028	0.028
			2	14	0.011	0.011	0.014	0.013
			2	21	0.030	0.030	0.034	0.033
		愛媛果試 (平成2年)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	0.007	0.006	0.012	0.012
			2	14	0.008	0.008	0.013	0.013
			2	21	0.007	0.006	0.012	0.012
キウイフルーツ 〔果 皮〕 平成元年 平成2年度 No.21	400 ℓ/10a 散 布	山口萩柑試 (平成元年)	0	-	0.19	0.19	0.22	0.22
			2	7	43.3	41.8	24.2	23.4
			2	14	32.3	32.2	25.6	25.4
			2	21	27.3	26.6	29.3	27.5
		愛媛果試 (平成2年)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	7	17.5	17.5	24.3	23.7
			2	14	18.8	18.0	17.6	17.4
			2	21	21.4	20.9	25.9	24.8
日本エコテック(株)								
キウイフルーツ 〔果 肉〕 平成18年度 No.72	20%水和剤* (7077ル) 1000倍 400 ℓ/10a 散 布	日植防研 (山梨)	0	-			<0.01	<0.01
			2	1			0.16	0.16
			2	7			0.09	0.09
			2	28			0.02	0.02
	20%水和剤* (7077ル) 1000倍 500 ℓ/10a 散 布	石川植防	0	-			<0.01	<0.01
			2	1			0.04	0.04
			2	7			0.08	0.08
			2	27			0.02	0.02
キウイフルーツ 〔果 肉〕 平成18年度 No.73	25%水和剤 1000倍 400 ℓ/10a 散 布	日植防研 (山梨)	0	-			<0.01	<0.01
			2	1			0.10	0.10
			2	7			0.06	0.06
			2	28			0.04	0.04
	25%水和剤 1000倍 500 ℓ/10a 散 布	石川植防	0	-			<0.01	<0.01
			2	1			0.02	0.02
			2	7			0.06	0.06
			2	27			0.03	0.03

* :フェンピロキシメート 4.0%+ブプロフェジン 20.0%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					日本エコテック(株)		-	
					最高値	平均値	最高値	平均値
マンゴー (施設)	20%水和剤 (フロアブル)	日植防宮崎	0	-	<0.01	<0.01	/	
	1000倍		2	3	0.03	0.03		
	360L/10a		2	7	0.03	0.03		
	散 布		2	14	0.06	0.06		
[果実] 平成 23 年度 資料 No.86	20%水和剤 (フロアブル)	鹿児島農業 環境協会	0	-	<0.01	<0.01	/	
	1000倍		2	3	0.25	0.24		
	365L/10a		2	7	0.05	0.05		
	散 布		2	14	0.11	0.11		
					沖縄県病害虫防除 技術センター		-	
パッションフルーツ (施設)	20%水和剤 (フロアブル)	沖縄県農業 大学校	0	-	<0.05	<0.05	/	
	1000倍		2	7	0.72	0.70		
	361L/10a		2	14	0.55	0.55		
	散 布		2	21	0.29	0.26		
[果実] 平成 23 年度 資料No.90	20%水和剤 (フロアブル)	鹿児島県 農業開発 総合センター	0	-	<0.1	<0.1	/	
	1000倍		2	7	1.2	1.2		
	625L/10a		2	14	0.9	0.9		
	散 布		2	21	0.7	0.7		
					日本エコテック(株)		-	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
いちじく (施設) [果 実] 平成15年度 No.69	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 ℓ/10a 散 布	愛知 農総試	0	-	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
			2	7	0.41	0.41	0.27	0.27
			2	14	0.24	0.24	0.18	0.17
			2	21	0.18	0.18	0.13	0.12
			2	44	<0.05	<0.05	0.02	0.02
いちじく (露地) [果 実] 平成15年度 No.69	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 550 ℓ/10a* 440 ℓ/10a** 散 布	大阪 食とみどりの 総技センター	0	-	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
			2*	7	0.81	0.80	0.85	0.85
			2*	14	0.16	0.16	0.25	0.24
			2*	21	0.08	0.08	0.12	0.12
			2**	42	0.09	0.09	0.09	0.09
					(財)日本食品分析 センター	㈱化学分析 コンサルタント		
くり [果 実] 昭和 63 年度 No.17	25%水和剤 1000倍 350 ℓ/10a 散 布	茨城園試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	25%水和剤 1000倍 500 ℓ/10a 散 布	石川農総試 能登農技 センター	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			2	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
2	15	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
					長野県農業試験場		-	
くるみ (露地) [果 仁] 平成 20 年度 平成 21 年度 No.89	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 ℓ/10a 散 布	長野県果樹 試験場 (20年度)	0	-	<0.01	<0.01	/	
			2	1	<0.01	<0.01		
			2	3	<0.01	<0.01		
			2	7	<0.01	<0.01		
		長野県果樹 試験場 (21年度)	0	-	<0.002	<0.002		
			2	1	<0.002	<0.002		
			2	3	<0.002	<0.002		
			2	7	<0.002	<0.002		

網掛けは追加提出

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)				
					公的分析機関		社内分析機関		
					(財)残留農薬研究所		(財)日本食品分析センター		
					最高値	平均値	最高値	平均値	
茶 〔製茶〕 昭和56年度 No.7	25%水和剤 1000倍	鹿児島茶試	0	-	0.15	0.15	0.18	0.17	
			2	7	51.1	49.6	45.0	42.8	
			2	14	10.2	9.84	8.30	8.20	
			2	21	2.08	2.00	2.25	2.12	
		長崎総農試 彼杵茶支場	0	-	0.08	0.08	0.45	0.44	
			2	7	51.8	50.5	44.0	41.5	
			2	14	7.31	7.13	5.40	5.20	
			2	21	0.83	0.78	0.62	0.61	
茶 〔浸出液〕 昭和56年度 No.7	1000 ℓ/10a 散 布	鹿児島茶試	0	-	<0.006	<0.006	<0.05	<0.05	
			2	7	0.952	0.932	1.28	1.24	
			2	14	0.242	0.239	0.20	0.20	
			2	21	0.059	0.057	0.06	0.06	
		長崎総農試 彼杵茶支場	0	-	<0.006	<0.006	<0.05	<0.05	
			2	7	1.23	1.16	1.62	1.55	
			2	14	0.194	0.192	0.18	0.18	
			2	21	0.022	0.022	<0.05	<0.05	
					(財)日本食品分析センター	日本エコテック㈱			
茶 〔荒茶〕 平成8年度 No.41	25%水和剤 1000倍 200 ℓ/10a 散 布	三重農技 南勢茶試	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
			2	7	73.6	70.8	46.1	44.9	
			2	14	12.4	12.4	9.63	9.39	
			2	21	3.02	2.96	2.18	2.18	
	鹿児島茶試	2	28	0.77	0.76	0.48	0.48		
		0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05		
		2	7	46.6	45.6	54.3	54.2		
		2	14	8.56	8.24	9.50	9.25		
鹿児島茶試	2	21	3.13	2.98	1.83	1.80			
	2	28	0.95	0.90	0.85	0.76			
	茶 〔浸出液〕 平成8年度 No.41	25%水和剤 1000倍 200 ℓ/10a 散 布	三重農技 南勢茶試	0	-	/	/	<0.05	<0.05
				2	7	/	/	3.22	3.20
2				14	/	/	0.36	0.36	
2				21	/	/	0.13	0.12	
鹿児島茶試		2	28	/	/	<0.05	<0.05		
		0	-	/	/	<0.05	<0.05		
		2	7	/	/	2.17	2.12		
		2	14	/	/	0.38	0.36		
鹿児島茶試	2	21	/	/	0.08	0.08			
	2	28	/	/	<0.05	<0.05			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用 回数	経過 日数	分析値(ppm)			
					公的分析機関		社内分析機関	
					(財)日本食品分析 センター		日本エコテック㈱	
					最高値	平均値	最高値	平均値
茶 〔荒茶〕 平成8年度 No.46	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 ℓ/10a 散布	茨城農総 センター 山間指導所	0	-	0.10	0.10	0.08	0.08
			2	7	55.4	55.0	31.5	31.2
			2	14	7.04	6.90	3.90	3.85
			2	21	2.53	2.40	1.83	1.82
2	28	0.50	0.48	0.47	0.45			
平成8年度 No.46	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 1000 ℓ/10a 散布	高知農技 センター 茶業試	0	-	<0.05	<0.05	0.07	0.07
			2	7	46.2	45.4	44.5	43.0
			2	14	11.0	10.8	10.0	9.75
			2	21	1.36	1.30	1.35	1.30
2	28	0.45	0.42	0.55	0.55			
茶 〔浸出液〕 平成8年度 No.46	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 ℓ/10a 散布	茨城農総 センター 山間指導所	0	-			<0.05	<0.05
			2	7			1.10	1.08
			2	14			0.16	0.16
			2	21			0.07	0.07
2	28			<0.05	<0.05			
平成8年度 No.46	20%水和剤 (フロアブル) 1000倍 1000 ℓ/10a 散布	高知農技 センター 茶業試	0	-			<0.05	<0.05
			2	7			1.55	1.52
			2	14			0.38	0.38
			2	21			0.06	0.06
2	28			<0.05	<0.05			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

〔2〕 乳汁への移行性

試験方法： 検体 の 0、400 および 4000mg/頭/日を濃厚飼料に混入し乾草とともに 1 日 1 回、28 日間給与した。搾乳は 1 日 2 回(朝、夕)実施した。2 回分を混合し、分析用に 500ml採取した。

結果：

試料調製施設 供試動物 報告年	投与化合物 投与期間 および方法	試料採取日	分析値(μg/g)					
			対照群		400mg/頭/日群*		4000mg/頭/日群*	
			牛 1	牛 2	牛 3	牛 4	牛 5	牛 6
ホルスタイン種系 搾乳牛(6頭) 1982年	ブプロフェジン	投与開始前日	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		投与開始後						
	(400 および 4000mg/牛/日)	1 日	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
		3 日	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
		7 日	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.03
		14 日	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.03
		21 日	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.04
		28 日	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.03
		30 日	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
		31 日	—	—	—	—	<0.01	<0.01
濃厚飼料に混入 して 28 日間投与								

*: 稲わら中のブプロフェジンの最大残留量は 32ppm(50%水和剤、1000 倍希釈 150 ~200 l/10a、4 回散布)。32ppm のブプロフェジンが残留した稲わらを、牛 1 頭当たり 1 日 2kg 摂取すると仮定すると、その投与量は 64mg/頭/日である。従って、400mg/頭/日は最大残留量の 6 倍、4000mg/頭/日では 60 倍の摂取量に相当する。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

[3] 土壤残留性

①-1 圃場試験(水田)

分析実施機関:日本農薬(株)

試料調製 および 採取場所 〔土壤種〕 年度	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法 (処理日)	使 用 回 数	経 過 日 数	分析値(ppm)			推定半減期
				最高値	回数	平均値	
和歌山農試 〔沖積埴壤土〕 昭和54年度	粒 剤 4% 4 kg/10a	0	-	<0.02	2	<0.02	約103日 約127日
		4	0	2.85	2	2.74	
		4	31	1.72	2	1.65	
		4	60	2.30	2	2.14	
		4	90	3.52	2	3.36	
		4	120	1.64	2	1.57	
		4	151	0.89	2	0.85	
		4	180	0.76	2	0.73	
日植防 (牛久) 〔火山灰埴壤土〕 昭和54年度	散 布 (S54.6~9)	0	-	<0.02	2	<0.02	約95日 約162日
		4	0	3.50	2	3.34	
		4	30	14.50	2	13.50	
		4	60	3.24	2	2.93	
		4	90	1.25	2	1.15	
		4	120	4.41	2	4.21	
		4	150	1.95	2	1.83	
		4	180	1.56	2	1.45	
愛媛農試 〔沖積埴壤土〕 昭和55年度	水和剤 50% 500倍 160 l/10a	0	-	<0.02	2	<0.02	約38日
		4	0	2.39	2	2.36	
		4	31	1.60	2	1.50	
		4	64	0.54	2	0.47	
		4	93	0.30	2	0.29	
		4	123	0.06	2	0.06	
栃木農試 〔火山灰壤土〕 昭和55年度	散 布 (S55.6~8)	0	-	<0.02	2	<0.02	約19日
		4	0	2.43	2	2.36	
		4	30	0.81	2	0.74	
		4	60	0.26	2	0.23	
		4	90	0.20	2	0.17	
		4	120	0.05	2	0.05	
4	180	0.10	2	0.09			

粒剤の推定半減期は上段が一次反応式に基づいた値、下段がグラフに基づいた値。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

①-2 圃場試験(畑地)

分析実施機関: 日本農薬(株)

試料調製 および 採取場所 〔土壌種〕 年度	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法 (処理日)	使用 回 数	経 過 日 数	分析値(ppm)			推定半減期
				最高値	回数	平均値	
神奈川園試 (根府川) 〔火山灰埴壤土〕 昭和56年度	水和剤 25% 500倍 500 l/10a	0	-	<0.02	2	<0.02	約71日
		5	0	6.2	2	6.0	
		5	30	3.0	2	2.9	
		5	61	4.5	2	4.4	
		5	90	1.7	2	1.6	
		5	121	1.4	2	1.3	
		5	149	1.3	2	1.3	
愛媛果試 〔洪積埴壤土〕 昭和56年度	散 布 (S55.6~56.10)	0	-	<0.02	2	<0.02	約99日
		5	0	7.0	2	6.7	
		5	31	5.1	2	5.0	
		5	60	4.0	2	4.0	
		5	90	6.1	2	5.9	
		5	120	1.1	2	1.0	
		5	150	1.0	2	1.0	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

②-1 容器内試験(水田)

分析実施機関: 日本農薬株

試料調製 および 採取場所 〔土壌種〕 年度	剤 型 有効成分量 供試濃度 (処理日)	使用 回 数	経 過 日 数	分析値(ppm)			推定半減期
				最高値	回数	平均値	
和歌山農試 〔沖積埴壤土〕 昭和55年度	標準品	0	-	<0.02	2	<0.02	約102日
		1	0	1.58	2	1.50	
		1	30	1.32	2	1.29	
		1	60	1.10	2	1.06	
		1	100	0.81	2	0.77	
		1	180	0.44	2	0.42	
		1	245	0.31	2	0.29	
		1	320	0.11	2	0.10	
日植防研 (牛久) 〔火山灰埴土〕 昭和55年度	1.60ppm 25℃ (S55.5.12)	0	-	<0.02	2	<0.02	約180日
		1	0	1.62	2	1.58	
		1	30	1.45	2	1.45	
		1	60	1.26	2	1.22	
		1	100	1.13	2	1.08	
		1	180	0.82	2	0.79	
		1	245	0.63	2	0.60	
		1	320	0.55	2	0.50	
愛媛農試 〔沖積埴壤土〕 昭和55年度	標準品	0	-	<0.02	2	<0.02	約86日
		1	0	1.43	2	1.41	
		1	30	1.30	2	1.27	
		1	60	1.05	2	1.01	
		1	90	0.68	2	0.64	
		1	120	0.47	2	0.46	
		1	180	0.27	2	0.23	
栃木農試 〔火山灰埴土〕 昭和55年度	1.60ppm 25℃ (S55.7.31)	0	-	<0.02	2	<0.02	約69日
		1	0	1.47	2	1.44	
		1	30	1.15	2	1.13	
		1	60	0.96	2	0.86	
		1	90	0.48	2	0.46	
		1	120	0.14	2	0.12	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

②-2 容器内試験(畑地状態)

分析実施機関:日本農薬㈱

試料調製 および 採取場所 〔土壌種〕 年度	剤 型 有効成分量 供試濃度 (処理日)	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)			推定半減期
				最高値	回数	平均値	
神奈川園試 (根府川) 〔火山灰埴壤土〕 昭和56年度	標準品	0	-	<0.02	2	<0.02	約90日
		1	0	2.1	2	2.0	
		1	30	1.4	2	1.4	
		1	60	1.2	2	1.2	
		1	90	1.0	2	1.0	
		1	160	0.64	2	0.63	
		1	240	0.44	2	0.42	
愛媛果試 〔洪積埴壤土〕 昭和56年度	2.5ppm 29℃ (S56.6.18)	0	-	<0.02	2	<0.02	約25日
		1	0	2.3	2	2.2	
		1	15	1.4	2	1.4	
		1	30	0.90	2	0.89	
		1	60	0.77	2	0.62	
		1	90	0.56	2	0.48	
		1	160	0.20	2	0.16	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

〔4〕 後作残留性

後作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	前作物名 前作への処理方法 (剤型 有効成分量 使用量 希釈倍数 使用方法)	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)	
					分析機関	
					(株)日本エコテック	
					最高値	平均値
だいこん 〔根部〕 平成17年度 No.1	水稻 (2.0 %粒剤 4kg/10a 4回湛水散布 + 2.0%粉剤 DL 4kg/10a 2回散布)	大分県肥料 植物防疫協会	0	-	<0.01	<0.01
			6	191	<0.01	<0.01
だいこん 〔葉部〕 平成17年度 No.1	水稻 (2.0 %粒剤 4kg/10a 4回湛水散布 + 2.0%粉剤 DL 4kg/10a 2回散布)	大分県肥料 植物防疫協会	0	-	<0.01	<0.01
			6	191	<0.01	<0.01

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度 目録No.	前作物名 前作への処理方法 (剤型 有効成分量 使用量 希釈倍数 使用方法)	試料調 製場所	使用 回数	経 過 日 数	分析値(ppm)	
					分析機関	
					(株)日本エコテック	
					最高値	平均値
小麦 〔玄麦〕 平成17年度 No.2	水稻 (2.0 %粒剤 4kg/10a 4回湛水散布 + 2.0%粉剤 DL 4kg/10a 2回散布)	大分県肥料 植物防疫協会	0	-	<0.01	<0.01
			6	244	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

〔5〕 水質汚濁性

① 分析実施機関:(財)化学品検査協会

試料調製および 採取場所 〔土壌種〕 年度	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法 (処理日)	使用 回数	経 過 日 数	分析値(mg/l)		
				最高値	回数	平均値
化学品検査協会 〔灰色低地土砂壤土〕 平成5年度	粒 剤 2% 4kg/10a (80g A.I./10a)	0	-	<0.00005	2	<0.00005
		1	0	0.0439	2	0.0438
		1	1	0.0212	2	0.0191
		1	3	0.00353	2	0.00347
		1	7	0.00289	2	0.00253
		1	14	0.00167	2	0.00162
化学品検査協会 〔多湿ボク土壌土〕 平成5年度	散 布 (H5.6.15)	0	-	<0.00005	2	<0.00005
		1	0	0.0507	2	0.0494
		1	1	0.0571	2	0.0540
		1	3	0.0465	2	0.0459
		1	7	0.0424	2	0.0389
		1	14	0.0201	2	0.0196

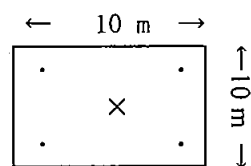
本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

② 分析実施機関: 日本エコテック㈱

試料調製および採取場所 〔土壌種〕 年度	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法 (処理日)	使用回数	経過日数 および 採水場所	分析値(mg/l)			
				最高値	回数	平均値	
愛知農総試内圃場 〔細粒灰色台地土〕 軽埴土 平成6年度	粒剤(パック剤) 6%	0	-	<0.001	2	<0.001	
		1	0* 投入部	0.001	2	0.001	
		1	0* 周辺部	0.002	2	0.002	
		1	0* "	0.002	2	0.002	
		1	0* "	<0.001	2	<0.001	
		1	0* "	0.001	2	0.001	
		100g×10個/10a (60g A.I./10a)	1	1 投入部	0.012	2	0.012
			1	1 周辺部	0.021	2	0.020
			1	1 "	0.014	2	0.014
			1	1 "	0.002	9	0.002
	小包装(パック) のまま投入	1	1 "	0.014	2	0.014	
		(H6.7.13)	1	7 投入部	0.005	2	0.005
			1	7 周辺部	0.013	2	0.013
			1	7 "	0.012	2	0.012
	1		7 "	<0.001	2	<0.001	
	1	7 "	0.004	2	0.004		
	日本農薬㈱ (大阪府内圃場) 〔細砂埴土〕 平成6年度	粒剤(パック剤) 6%	0	-	<0.001	2	<0.001
			1	0* 投入部	0.036	2	0.036
1			0* 周辺部	0.025	2	0.025	
1			0* "	0.012	2	0.012	
1			0* "	0.010	2	0.010	
1			0* "	0.010	2	0.010	
100g×10個/10a (60g A.I./10a)			1	1 投入部	0.031	2	0.030
			1	1 周辺部	0.029	2	0.028
			1	1 "	0.025	2	0.025
			1	1 "	0.030	2	0.030
小包装(パック) のまま投入		1	1 "	0.015	2	0.014	
		(H6.7.11)	1	3 投入部	0.022	2	0.022
			1	3 周辺部	0.020	2	0.020
			1	3 "	0.025	2	0.024
			1	3 "	0.034	2	0.034
			1	3 "	0.018	2	0.018
1			3 "	0.018	2	0.018	
1		7	1	7 投入部	0.012	2	0.012
			1	7 周辺部	0.011	2	0.011
			1	7 "	0.012	2	0.010
	1		7 "	0.014	2	0.014	
	1		7 "	0.009	2	0.008	

*: 投げ込み3時間後に採水した。
右図のような条件で採水した。

図)



× : 投入部

・ : 周辺部